

柴田治三郎文書

資料番号		表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田	1	1 [小宮豊隆書簡]	昭和15年4月2日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御安著だそうで安心…阿部君の所も駄目だったと…)	
柴田	1	2 [小宮豊隆書簡]	昭和15年4月6日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の辞表はもう提出済)	速達、切手ハガレ、中観音左右猿鶴図の白黒写真
柴田	1	3 [小宮豊隆書簡]	[昭和15年]4月6日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(今日本部で助手の継続が不可能)	速達、切手ハガレ
柴田	1	4 [小宮豊隆書簡]	昭和15年4月16日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(念のため…郵便物が紛れこんでみさうな所を探してもらふ事にして置いた)	朱字追記あり、消印「無駄を省いて国債報国」、
柴田	1	5 [小宮豊隆書簡]	[昭和15年]4月27日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(気の毒だが…ともかく服部君に考えてもらひ玉へ)	前欠か、速達、切手ハガレ、山田孝雄の皇学館大学学長就任(昭和15年)の記事あり
柴田	1	6 [小宮豊隆書簡]	[昭和15年ヵ]4月28日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(会計から六十円…送って)	
柴田	1	7 [小宮豊隆書簡]	昭和15年5月24日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(やっと落ち着いたことと思う)	切手ハガレ、米子錦公園内清洞寺の白黒写真
柴田	1	8 [小宮豊隆書簡]	昭和15年5月29日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君がひきうけたヘッペルは)	朱字追記あり、消印「ぜひ標札を掲げませう」
柴田	1	9 [小宮豊隆書簡]	昭和15年7月23日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君…大変ほめて)	朱字追記あり
柴田	1	10 [小宮豊隆書簡]	[昭和15年ヵ]12月25日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(弘前の高等学校に図書課主任をしてゐる書記…知識を供給してくれ)	小宮の館長就任は昭和15年9月、北住敏夫が同年に書記就任
柴田	1	11 [小宮豊隆書簡]	[昭和16年]2月2日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(津村…安心した)	
柴田	1	12 [小宮豊隆書簡]	昭和16年3月3日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(津村は…まだつかないのか)	
柴田	1	13 [小宮豊隆書簡]	[昭和16年]3月25日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(ヘリゲルの弓の印税は…四百円)	
柴田	1	14 [小宮豊隆書簡]	昭和16年4月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本三冊もたしかに受取った)	
柴田	1	15 [小宮豊隆書簡]	昭和16年4月9日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君から小町谷に金を送る)	
柴田	1	16 [小宮豊隆書簡]	昭和16年4月19日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小町谷にさう言うて置いた)	毛筆書き、消印「兵は戦線我等は国債」

※[]は推定を示す。書簡の日付は、作成者の記入があればそれを表示し、無い場合は郵便スタンプの日付を用いた。

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 1 補1	[小宮豊隆書簡]	昭和16年5月28日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夜は漱石研究会員の「それから」の研究を拝聴する…)	
柴田 1 17	[小宮豊隆書簡]	昭和16年6月12日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。](名産鯨の燻製も…受け取った)	消印「無駄を省いて国債報国」
柴田 1 18	[小宮豊隆書簡]	昭和16年8月31日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(全快してよかった)	
柴田 1 19	[小宮豊隆書簡]	昭和16年9月26日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。](「文化」の原稿は来月一杯)	
柴田 1 20	[小宮豊隆書簡]	昭和16年11月4日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(雑誌は…一月延び)	
柴田 1 21	[小宮豊隆書簡]	昭和16年12月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(原稿到着…よく出来てゐる)	消印「貯めよう!勝たう!」
柴田 1 22	[小宮豊隆書簡]	昭和16年12月27日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(到頭僕が…それでも八十四頁)	
柴田 1 23	[小宮豊隆書簡]	昭和17年1月22日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ハガキの用件…希望者はない)	
柴田 1 24	[小宮豊隆書簡]	昭和17年8月21日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(重複図書目録別封書留で送る)	
柴田 1 25	[小宮豊隆書簡]	昭和17年12月1日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(校閲の件…安請合は出来ない)	賀茂御祖神社摂社川合神社の白黒写真
柴田 1 26	[小宮豊隆書簡]	昭和18年1月15日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夏の休みに見る事を約束しよう)	
柴田 1 27	[小宮豊隆書簡]	昭和18年6月15日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(芸術学会に出たり…返事が遅れ)	
柴田 1 28	[小宮豊隆書簡]	[昭和18年]7月22日	小宮豊隆	便箋2枚	柴田治三郎宛。(池田君の事…)	
柴田 1 29	[小宮豊隆書簡]	昭和18年7月27日	小宮豊隆	便箋3枚	柴田治三郎宛。(池田君は現在北大医学部の学生)	速達、切手2枚のうち1枚ハガレ
柴田 1 30	[小宮豊隆書簡]	昭和18年9月4日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日池田に会った)	
柴田 1 31	[小宮豊隆書簡]	昭和18年10月8日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(池田が可哀相だが致し方がない)	
柴田 1 32	[小宮豊隆書簡]	昭和18年10月21日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(なかなかうまい林檎…ありがたう)	
柴田 1 33	[小宮豊隆書簡]	[昭和18年]10月23日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(僕の講義…池田に右の旨伝え)	
柴田 1 34	[小宮豊隆書簡]	[昭和18年]11月11日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(池田からインクの代金…受取った)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 1 35	[小宮豊隆書簡]	[昭和18年]12月16日	小宮豊隆	便箋2枚	柴田治三郎宛。(来月中旬…講義を始める気で)	切手ハガレ、柴田の集中講義は19年2月下旬から
柴田 1 36	[小宮豊隆書簡]	[昭和19年カ]1月10日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の時間の配置を考えてみたが)	速達、3銭の官製葉書なので昭和19年3月以前か
柴田 1 37	[小宮豊隆書簡]	昭和19年4月5日	小宮豊隆	便箋2枚	柴田治三郎宛。(百八拾六円八拾円小為替…送る)	書留便、東北帝国大学附属図書館の封筒使用
柴田 1 38	[小宮豊隆書簡]	[昭和19年]6月17日	小宮豊隆	便箋2枚	柴田治三郎宛。(東の蔵書…リストをつくってゐる)	
柴田 1 39	[小宮豊隆書簡]	昭和19年7月4日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(日本の学問が転落の一途を辿る)	
柴田 1 40	[小宮豊隆書簡]	昭和19年8月6日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(学部長からこんな事を言ってきた)	「人文科学研究研究組織二関スル件」同封
柴田 1 41	[小宮豊隆書簡]	昭和19年8月12日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(報告書も正に落手…提出した)	
柴田 1 42	[小宮豊隆書簡]	[昭和19年]10月18日	小宮豊隆	便箋6枚	柴田治三郎宛。(僕は学徒動員には絶対反対である)	切手ハガレ
柴田 1 43	[小宮豊隆書簡]	昭和19年11月16日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛(東の本は高いので)	
柴田 1 44	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年カ]1月17日	小宮豊隆	便箋4枚	柴田治三郎宛。(会計に聞いて見たら金はまだ送ってゐなかった)	東北帝国大学附属図書館の封筒使用、小宮の図書館長は昭和21年5月ま
柴田 1 45	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年]4月30日	小宮豊隆	便箋1枚	柴田治三郎宛。(北海タイムスの阿部良夫君が死んだようだ)	書留、東北帝国大学の封筒使用、阿部良夫は4/15死去(『北海道新聞三十年史』年表)
柴田 1 46	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年]5月22日	小宮豊隆	原稿用紙5枚	柴田治三郎宛。(東の本のリストも受取った)	転送用貼紙「空知国夕張郡長沼村(以下略)」
柴田 1 47	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年]6月15日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(漱石文庫の預け先を探す為)	3銭の官製葉書に2円切手貼付から年代推定(昭和20年4月から21年7月24日まで5銭)
柴田 1 48	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年]7月26日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(高校卒業生の学力が…低下する)	
柴田 1 49	[小宮豊隆書簡]	[昭和20年]8月28日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(図書館も書庫も無事)	修善寺温泉旅館菊屋の白黒写真、仙台空襲による片平焼失が7月10日であることから推定
柴田 1 50	[小宮豊隆書簡]	昭和20年10月23日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(寄宿舍…金倉学生部長に会って)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 1 51	[小宮豊隆書簡]	昭和20年11月27日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(日本全国が戦争のお陰で虚脱)	官幣大社宮崎宮の白黒写真
柴田 1 52	[小宮豊隆書簡]	[昭和21年]1月11日	小宮豊隆	原稿用紙5枚	柴田治三郎宛。(農夫も悪いには違ひないが政府も悪い)	切手ハガレ
柴田 1 53	[小宮豊隆書簡]	[昭和21年カ]5月29日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(寺田正二は恐らく行かないに違ひない)	私製葉書に切手2枚貼付、小宮は昭和21年3月に東北帝大辞職、同4月より東京音楽学校校長に就任
柴田 1 54	[小宮豊隆書簡]	昭和28年2月26日	小宮豊隆	原稿用紙3枚	柴田治三郎宛。(大川茂が…常勤にしてもらってくれないかと言って来た)	速達、柴田は昭和21年9月に東北帝大法文学部助教授に就任
柴田 1 55	[小宮豊隆書簡]	昭和28年3月20日	小宮豊隆	原稿用紙5枚	柴田治三郎宛。(教師といふものを早くやめて、すきなことのできる隠居になりたい)	
柴田 1 56	[小宮豊隆書簡]	昭和28年8月25日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日曠三が…君が桃をむいてみる写真を持って来た)	
柴田 1 57	[小宮豊隆書簡]	昭和28年12月9日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(松島の牡蠣今日到着ありがとう)	Senkosanso白黒写真
柴田 1 58	[小宮豊隆書簡]	昭和29年3月19日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(世間でワイワイ騒がれるので)	
柴田 1 59	[小宮豊隆書簡]	昭和29年7月6日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君が僕よりも背が低い…発見した)	
柴田 1 60	[小宮豊隆書簡]	昭和29年8月30日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(独文学会で話をしてもいいが)	
柴田 1 61	[小宮豊隆書簡]	昭和29年10月2日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(講演をする時間の余裕はない)	
柴田 1 62	[小宮豊隆書簡]	昭和29年11月15日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(話をする機会がな	
柴田 1 63	[小宮豊隆書簡]	昭和30年3月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(東北ドイツ文学会いよいよ成立)	文面天地逆
柴田 1 64	[小宮豊隆書簡]	昭和30年4月17日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(漱石文庫の未整理を片づける気)	
柴田 1 65	[小宮豊隆書簡]	昭和30年6月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あと二冊は岩波に返すことにする)	
柴田 1 66	[小宮豊隆書簡]	昭和30年12月19日	小宮豊隆	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(危篤だといふ電話…小林勇が来てもういけなかったといふ知らせが店からあり)	安井曾太郎筆静物彩色画、安井曾太郎は昭和30年12月14日逝去

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 1 67	[小宮豊隆書簡]	昭和30年12月24日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(松島の牡蠣…ありがたく頂戴)	昭和31年年賀葉書使用、未納料金票添付
柴田 1 68	[小宮豊隆書簡]	[昭和31年]1月17日	小宮豊隆	便箋2枚	柴田治三郎宛。(漱石全集を…新書型で岩波から出すことになった)	宛先は「仙台市片平丁東北大学文学部ドイツ文学研究室」
柴田 1 69	[小宮豊隆書簡]	昭和31年1月26日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岩波書店…すぐ連絡させたので)	昭和31年年賀葉書使用
柴田 1 70	[小宮豊隆書簡]	昭和31年2月6日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君流に二十枚の解説をかいて)	昭和31年年賀葉書使用
柴田 1 71	[小宮豊隆書簡]	[昭和31年]2月16日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(解説を…自信が持てなくなった由)	私製葉書に切手貼付、鳳凰の絵あり
柴田 1 72	[小宮豊隆書簡]	昭和32年1月12日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(松島の蠣…ありがたう)	私製葉書に切手2枚貼付、松の絵あり
柴田 1 73	[小宮豊隆書簡]	昭和32年10月9日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(折角のお招きだが…勘弁)	
柴田 1 74	[小宮豊隆書簡]	昭和32年10月22日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鳥取のセピア・インクを頂戴)	
柴田 1 75	[小宮豊隆書簡]	昭和33年1月22日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(松島の牡蠣の方が…新鮮な感じ)	
柴田 1 76	[小宮豊隆書簡]	昭和33年4月14日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君も…武見に見てもらったら)	
柴田 1 77	[小宮豊隆書簡]	昭和33年9月1日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(漱石文庫の…読んだ痕跡が)	
柴田 1 78	[小宮豊隆書簡]	昭和33年9月7日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(読まれた形跡…安心した)	
柴田 1 79	[小宮豊隆書簡]	[昭和33年ヵ]12月20日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(別途をさがすより仕方があるまい)	
柴田 1 80	[小宮豊隆書簡]	昭和34年11月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(支倉焼を頂戴…賞玩している)	
柴田 1 81	[小宮豊隆書簡]	昭和34年11月28日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御引越の由…一度新居を見せて)もらひに行きたい)	
柴田 1 82	[小宮豊隆書簡]	昭和34年12月5日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(七日の四十九日には行かない)	
柴田 1 83	[小宮豊隆書簡]	昭和35年3月18日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(阿部日本学研究所を大学に)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 1 84	[小宮豊隆書簡]	昭和36年1月15日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日『少年少女世界文学全集』ドイツ編(一)を頂戴…今月中には拝見)	私製葉書に切手貼付、柿の絵あり
柴田 1 85	[小宮豊隆書簡]	[昭和36年カ]7月19日	小宮豊隆	葉書1枚	東北ドイツ文学会宛。(研究発表会には…参加できないだろうといふ気がしている)	
柴田 1 86	[小宮豊隆書簡]	昭和37年2月11日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(貴訳を拝見し…感心しました)	
柴田 1 87	[小宮豊隆書簡]	[年未詳]7月21日	小宮豊隆	葉書1枚	柴田治三郎宛。(いくらか健康が回復し	
柴田 1 88	[小宮豊隆写真]	[未詳]	小宮豊隆	1枚	柴田治三郎宛。	裏面「柴田治三郎様／小宮豊隆」
柴田 1 89	[小宮豊隆夫妻写真]	[未詳]	-	計2枚		便箋1枚添付「銀杯受領を記念」
柴田 1 90	[小宮家写真]	[年未詳]3月7日	-	計2枚	(小宮豊隆夫妻と長男書之助)	便箋1枚添付「父の今年の誕生日に」
柴田 1 91	[新聞切抜]	[年未詳]	[掲載紙未詳]	計3枚	(小宮豊隆像)	写真1枚とコピー1枚添付
柴田 1 92	[新聞切抜]	昭和59年9月7日	河北新報	計2枚	(掘り起こし進む／生誕100年独文学者・故小宮豊隆)	小宮恒子計報記事切抜(朝日新聞平成4年8月5日付)貼付、コピー1枚添付
柴田 1 93	[新聞切抜]	昭和63年12月7日	朝日新聞宮城版	1枚	(漱石忌間近／ゆかりの書籍三千冊)	
柴田 1 94	[新聞記事コピー]	平成5年5月10日	町田ジャーナル	1枚	(人物インタビュー／小宮曠三さん)	
柴田 1 95	[雑誌記事コピー]	昭和26年	「改造」新年号	6枚ホチキス綴	(芸談／天野貞祐／中村吉衛門／小宮豊隆)	書入跡「荻窪の里子より二三日まえにこんなものが見つかったといって送ってきましたので披露します。」
柴田 1 96	[雑誌記事コピー]	[年未詳]	「オール読物」平成3年12	3枚	(戸板康二「小宮豊隆の吉衛門」→後に同『あの人この人』文芸春秋、1996年に再録)	
柴田 2 1	[小宮恒子書簡]	昭和29年7月5日	小宮恒	葉書1枚	柴田治三郎宛。(京都の脇さんの事…主人も純な性質がとても気に入り…結納すませ度い)	
柴田 2 2	[小宮恒子書簡]	昭和30年1月29日	小宮恒	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あの子も…荒けづりの人間になつて少からず父を残念がらせて)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 2 3	[小宮恒子書簡]	[昭和35年]8月3日	小宮豊隆内	便箋3枚	柴田治三郎宛。(御見舞金を頂戴いたし…主人の病気も…次々合併症になやみ)	小宮は昭和35年4月に東大病院で手術
柴田 2 4	[小宮恒子書簡]	昭和35年12月21日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(秋冷の頃からやつと食欲が出)	
柴田 2 5	[小宮恒子書簡]	昭和37年1月26日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(新聞や雑誌に主人の書きましたもの…単行本として出し度)	昭和37年年賀葉書使用、1円切手貼付
柴田 2 6	[小宮恒子書簡]	昭和37年11月2日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(肉体的には…至つて元氣…老衰の方は何ともいたしかたもなく)	
柴田 2 7	[小宮恒子書簡]	昭和40年9月14日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(次女がお友達に会うため行くという事でついでに同行)	
柴田 2 8	[小宮恒子書簡]	昭和41年5月30日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日四七日の法要を営み)	
柴田 2 9	[小宮恒子書簡]	昭和41年10月[31日]	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(書籍の方も…目録を…金谷北住両教授にも御目にかかけました)	日付「十月末日」
柴田 2 10	[小宮恒子書簡]	昭和42年2月27日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ふみ外して廊下に落ち…骨折で…やつと昨今むねのほう帯もとれ)	
柴田 2 11	[小宮恒子書簡]	昭和42年7月8日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三女が二ヶ月休暇とれたのでヨーロッパに行くと申まして連れていってくれ)	
柴田 2 12	[小宮恒子書簡]	昭和42年11月16日	小宮恒子	便箋2種類使用計6枚	柴田治三郎宛。(先分は寄附させて頂いて打きりに御願いたし度う存じます)	速達
柴田 2 13	[小宮恒子書簡]	昭和43年6月10日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎・奥様宛。(御主人様御不快のよし九月の水曜会の折承り…此頃如何御過し)	
柴田 2 14	[小宮恒子書簡]	[昭和43年]11月26日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(目録など御もち頂き…経理士の申ますとほりの受領書…税務署の方へ渡し)	
柴田 2 15	[小宮恒子書簡]	昭和45年1月12日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨秋来健康を害し…心臓肥大症を宣告され外出出来ず)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 2 16	[小宮恒子書簡]	昭和45年12月15日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夏休み中に曠三が編集して目次を作ってくれましたので本にいたしました)	『偲ぶ草』刊行に関するものか
柴田 2 17	[小宮恒子書簡]	昭和46年10月30日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(此度は突然思立って参上…すぐにも御礼申上げる処…今日まで失礼のみ)	
柴田 2 18	[小宮恒子書簡]	昭和46年12月14日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(水曜会の皆さんからもっと先生の事は入れたらよかったと御注意を受けました)	『蓬里雨句集』刊行に関するものか
柴田 2 19	[小宮恒子書簡]	昭和47年3月3日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨年五月のお集りの節慶応、音楽学校、学習院の先生がた…ご不満)	
柴田 2 20	[小宮恒子書簡]	昭和47年5月17日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(主人の法要に御遠路御出席頂き乍ら…ゆっくり御礼も申上ませず)	
柴田 2 21	[小宮恒子書簡]	昭和50年12月28日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三井信託銀行の荻窪支店長…漱石六十回忌に当り記念展覧会をやり度い)	
柴田 2 22	[小宮恒子書簡]	昭和51年12月9日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(末女夏子の孫達がまだ幼く可愛いのに引ずられてまだ生きて居ります)	
柴田 2 23	[小宮恒子書簡]	昭和52年6月4日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御入院と承り驚きました…主人は手術の夜半…大さわぎ…余病を併発し)	
柴田 2 24	[小宮恒子書簡]	昭和52年8月7日	小宮恒子	大判絵 葉書1枚	柴田治三郎宛。(末女母子を婿の任地ウランバートルに…出発させて此処に休養に参って)	差出人住所「山中湖畔東旭ヶ丘別荘」、「山中湖のさかさ富士」の写真
柴田 2 25	[小宮恒子書簡]	昭和53年2月13日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夏目先生…御遠慮いたします、主人について書いてもよろしいでしょうか)	
柴田 2 26	[小宮恒子書簡]	昭和53年3月15日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(曠三が参り…大学も停年でお別れとなり専修大学に籍を置きますよし)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 2 27	[小宮恒子書簡]	昭和53年5月24日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三日の墓前祭には河野先生が御夫妻で御出席…末娘夏子が…随筆を発表)	
柴田 2 28	[小宮恒子書簡]	昭和53年12月10日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本日はまた何よりの品御届け頂き誠にありがたく厚く御礼申し上げます)	
柴田 2 29	[小宮恒子書簡]	昭和54年12月25日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(只今はまた御見事なかきを御届け頂きいつまでも御心にかけて頂き)	
柴田 2 30	[小宮恒子書簡]	昭和55年12月21日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御心入れの品お届け頂きありがたく…御地はすでに積雪のよし)	
柴田 2 31	[小宮恒子書簡]	[昭和56年ヵ]12月5日	小宮恒子	便箋1枚	柴田治三郎宛。(承ればずっと目まいがおつづきのよし実は私も二年程前)	昭和56年の記念切手使用、封筒に「写真三枚在中」とあるが、同封されていた筈の写真は無し
柴田 2 32	[小宮恒子書簡]	昭和57年11月13日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(秋山夫妻が是非私にもゆけと申しますので二日…さかたホテルに参ります)	
柴田 2 33	[小宮恒子書簡]	昭和57年12月2日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(老婆の悲しさ、あの駅の階段の上下にすっかり膝をいため、まだ寝て居ります)	
柴田 2 34	[小宮恒子書簡]	昭和57年12月10日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(冬休みになるのを待って十四日頃夏子も子供連れニュージーランドえ出発)	
柴田 2 35	[小宮恒子書簡]	昭和59年1月20日	小宮[恒子]	葉書1枚	柴田治三郎宛。(古い物ばかりですが御覧下さいませ)	河北新報社主催「東北大学無名会懐古展ご案内」の印刷葉書
柴田 2 36	[小宮恒子書簡]	昭和59年7月9日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(河野先生は誠に御立派な人物誠に残念な事で御座いまし	昭和59年年賀葉書使用、河野与一は昭和59年7月6日逝去
柴田 2 37	[小宮恒子書簡]	昭和59年10月27日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(此度福岡県豊津高校内に小宮豊隆文学碑建立される事にな	速達、200円切手貼付
柴田 2 38	[小宮恒子書簡]	昭和59年12月14日	小宮恒子代	葉書1枚	柴田治三郎宛。(十二月一日で満九十二才を迎え…急に弱った感がございま	家族の女性が代筆
柴田 2 39	[小宮里子書簡]	昭和60年3月1日	小宮里子	葉書1枚	柴田治三郎宛(豊津の三四郎の森の除幕式は当初三月七日)	昭和59年年賀葉書使用

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 2 40	[小宮恒子書簡]	昭和60年5月19日	小宮恒子	便箋2枚	柴田治三郎宛。(あのような遠方まで御運び頂き…主人も地下でどの様にかよるこびました事と)	文学碑建立の関係
柴田 2 41	[小宮恒子書簡]	昭和60年[5月]21日	小宮恒子代	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二年ぶりの仙台も好天氣に恵まれ思い出の場所を散策する事が出来)	家族の女性が代筆
柴田 2 42	[小宮恒子書簡]	昭和61年6月3日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(子供達が、父には小説がなく全集が出せないが、旅行記	
柴田 2 43	[小宮恒子書簡]	[昭和61年]12月10日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(幸私の風邪も治りましたし一同元気に九十四歳の誕生日をいたしてくれました)	
柴田 2 44	[小宮恒子書簡]	昭和62年5月7日	小宮恒子	葉書1枚	柴田治三郎宛。(娘が連休だから父上の文学碑拝見にゆくと申し)	昭和58年年賀葉書使用
柴田 3 1	[レーヴィット書簡]	昭和12年7月15日	レーイビット	葉書1枚	河野與一宛(トーマス・マン(の本)借用への感謝、シャルル・モーラス『知識人の未来』購入の依頼、梅雨の湿気に苦	
柴田 3 2	[レーヴィット書簡]	昭和14年4月4日	K.Löwith	葉書1枚	河野與一宛(東京方面へ旅行するため、ホテルの部屋の予約を依頼)	
柴田 3 3	[レーヴィット書簡]	昭和14年8月28日	レーヴィット	便箋1枚	河野與一宛(独ソ不可侵条約締結に触発され披瀝された世界情勢について、独ソの統治方式は同じなので提携は驚くに値しないと記す)	茶封筒入り、切手なし、「長野県軽井沢」の「レーヴィット」から東京の河野宛
柴田 3 4	[レーヴィット書簡]	[年不明]12月26日	K.Löwith	葉書1枚	河野與一宛(新年の挨拶)	
柴田 3 5	[レーヴィット書簡]	昭和38年10月28日	Karl Löwith	便箋1枚	Yoichi Kono宛(3週間のギリシア旅行から戻ったところで、ハイデルベルグから転送された絵葉書拝受)	
柴田 3 6	[レーヴィット夫人書簡]	[昭和48年7月23日]	[Ada Löwith]	カード1枚	Prof.J.Shibata宛(レーヴィット訃報)	
柴田 3 7	[柴田治三郎書簡コピー]	昭和53年2月1日	J.Shibata	3枚	Frau Professor Löwith宛(レーヴィット著『ヘーゲルからニーチェへ』翻訳に関する印税などの報告)	
柴田 3 8	[レーヴィット夫人書簡]	昭和53年2月12日	Ada Löwith	ミニレター	Herr Shibata宛(レーヴィット全集編纂のため、翻訳を出した日本の出版社に対する問い合わせの依頼)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 3 9	[柴田治三郎書簡コピー]	昭和53年4月1日	J.Shibata	3枚	Frau Professor Löwith宛(3-8に対する返事として、日本の出版社の事情などを説明)	
柴田 3 10	[レーヴィット夫人書簡]	昭和55年3月3日	Ada Löwith	ミニレター	Herr Shibata宛(贈られたカレンダーへの感謝、近況報告、H.G.ガダマー80歳の誕生日を祝って開かれたコロキウム情報など)	
柴田 3 11	[柴田治三郎書簡控]	昭和56年3月6日	J.Shibata	便箋2枚	Frau Löwith宛(柴田蔵書の中のレーヴィット著『ヨーロッパのニヒリズム』送付の報告、レーヴィット全集刊行への祝辞、岩波書店より刊行された『モーツァルトの手紙』に関する報告、仙台の変化への慨嘆など)	
柴田 3 12	カール・レーヴィット写真	昭和16年	(不明)	1枚	-	白黒15.9×11.6cm、黒紙台紙24.3×17.9cm、写真裏面鉛筆書き入れ「昭和十六年仙台ニテ 四十五才」
柴田 3 13	レーヴィット夫人写真	-	-	1枚	-	白黒7.1×5.4cm、写真裏に「レイヴィット夫人」の青インク書き入れ
柴田 3 14	レーヴィット写真	昭和40年	-	1枚	-	白黒7.7×11.2cm、写真裏に「1965年スイスカローナ」の青インク書き入れ
柴田 3 15	レーヴィット夫妻写真	-	-	1枚	-	白黒7.7×11.2cm
柴田 3 16	レーヴィット等写真	[昭和38年]	-	1枚	-	白黒7.7×11.2cm、写真裏に「Im Museumsrestaurant Hauptstrasse in Heidelberg」の青インク書き入れ、他の2人は夫人と柴田
柴田 3 17	レーヴィット旧蔵ジャケット	-	-	1点	-	
柴田 3 18	レーヴィット旧蔵スパッツ	-	-	1組	-	
柴田 4 1	[河野與一書簡]	昭和11年10月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(字引早速恐れ入りました)	黄色の1銭5厘官製葉書使用
柴田 4 2	[河野與一書簡]	昭和12年9月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(レキット構はないからお引き受けなさい)	黄色の幸田露伴祝賀会宛2銭官製返信用葉書転用、消印「航空日本の建設は愛国切手で」

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 3	[河野與一書簡]	[昭和14年]2月5日	河野與一	葉書コピー5枚	柴田治三郎宛。(お誂え向きにおなじみの)	
柴田 4 4	[河野與一書簡]	[年未詳]9月4日	河野與一	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(kleinは昨日取りに来ましたから)	仙台七夕写真、消印「航空日本の(以下欠)」、切手ハガレ、宛先から昭和14年以前と推定
柴田 4 5	[河野與一書簡]	昭和15年4月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(〇先生の身辺多事で)	
柴田 4 6	[河野與一書簡]	昭和15年4月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本郷大学正門前原広書店に)	消印「無駄を省いて国債報国」
柴田 4 7	[河野與一書簡]	昭和15年4月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(いよいよ五月一日離)	消印「無駄を省いて国債報国」
柴田 4 8	[河野與一書簡]	昭和15年5月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日から学校に出た)	
柴田 4 9	[河野與一書簡]	昭和15年5月15日	河野與一	便箋4枚	柴田治三郎宛。(学校は三四人づゝで去年の続きのモンテーニュが金曜午	封書裏書き入れ「千秋君のところ十二日男児出生」
柴田 4 10	[河野與一書簡]	昭和15年5月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週末…岡本さんの本の整理に)	河野の差出先「車中にて」
柴田 4 11	[河野與一書簡]	昭和15年6月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週は大庭君と上ノ山の荷造り)	消印「胸に愛国手に国債」
柴田 4 12	[河野與一書簡]	昭和15年6月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(過労つゞきで腸をいため)	消印「無駄を省いて国債報国」
柴田 4 13	[河野與一書簡]	昭和15年7月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(手術後九日目十二日に退院したが)	
柴田 4 14	[河野與一書簡]	昭和15年8月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(まだどうもふらふらしてゐて)	
柴田 4 15	[河野與一書簡]	昭和15年8月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(林檎沢山お送り頂き有難う存じます)	消印「胸に愛国手に国債」
柴田 4 16	[河野與一書簡]	昭和15年9月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(仙台へは廿五日に行くことにし)	消印「十月一日国勢調査」
柴田 4 17	[河野與一書簡]	昭和15年9月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(僕が他のものと一緒に払ったやう)	消印「十月一日国勢調査」
柴田 4 18	[河野與一書簡]	昭和15年9月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岩波に行つて布川角左衛門君に)	消印「十月一日国勢調査」
柴田 4 19	[河野與一書簡]	昭和15年10月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(物が二重に見えて苦しんでゐる)	
柴田 4 20	[河野與一書簡]	昭和15年10月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋さんが昨日朝電話をかりに来て)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 21	〔河野與一書簡〕	昭和15年10月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(札幌から岩波の小林君が来て)	消印「国債の力で築け新東亜」
柴田 4 22	〔河野與一書簡〕	昭和15年11月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ギリシャ語も油がのつてゐる御様子)	消印「奉祝紀元二千六百年」
柴田 4 23	〔河野與一書簡〕	昭和15年11月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(原田君がOdyseeを見つけてくれた)	消印「奉祝紀元二千六百年」
柴田 4 24	〔河野與一書簡〕	昭和15年12月9日	河野與一	用紙2枚	柴田治三郎宛。(アミエルの校正いよいよはじまり)	速達
柴田 4 25	〔河野與一書簡〕	昭和15年11月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夜やっと独逸論に手を出す)	消印「奉祝紀元二千六百年」
柴田 4 26	〔河野與一書簡〕	昭和15年12月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(単行本として出すのはやめよう)	消印「偲べ戦線求めよ国債」
柴田 4 27	〔河野與一書簡〕	〔昭和15年〕12月31日	河野與一	用紙2枚	柴田治三郎宛。(アミエルの校正到頭年を越すことに)	切手ハガレ
柴田 4 28	〔河野與一書簡〕	昭和16年1月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御訳稿只今入手)	
柴田 4 29	〔河野與一書簡〕	昭和16年1月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(四郎の十三回忌の法事をやるので)	
柴田 4 30	〔河野與一書簡〕	昭和16年1月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(L先生山本家へ来訪…アメリカへ)	
柴田 4 31	〔河野與一書簡〕	昭和16年4月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(「弓」は出来立てを拝見)	
柴田 4 32	〔河野與一書簡〕	昭和16年5月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(リデル&スコットはまだお代を)	消印「赤心防諜揺がぬ日本」
柴田 4 33	〔河野與一書簡〕	昭和16年5月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Odyseeしっかり願います)	亀井宛の返信用官製葉書を転用
柴田 4 34	〔河野與一書簡〕	昭和16年6月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(千秋君からも君の噂をききました)	消印「貯蓄報国」
柴田 4 35	〔河野與一書簡〕	昭和16年7月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(思い切って盲腸の手術をして貰ふ)	
柴田 4 36	〔河野與一書簡〕	昭和16年8月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(早稲田の原田…なくなりました)	消印「国債の力で築け新東亜」
柴田 4 37	〔河野與一書簡〕	昭和16年11月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(「弓」の御馳走を…小町谷君が)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 38	[河野與一書簡]	昭和17年2月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(阿部学部長病気で辞任小宮さんが推薦されたが御辞退になって)	
柴田 4 39	[河野與一書簡]	昭和17年5月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岡本さんの母堂御不幸…御本人重態で四月十四日入院)	
柴田 4 40	[河野與一書簡]	昭和17年5月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(山本は引払って築館から通ふ)	
柴田 4 41	[河野與一書簡]	昭和17年6月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(教練は方々に響いてみます)	
柴田 4 42	[河野與一書簡]	昭和17年6月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(エウリピデスについては)	
柴田 4 43	[河野與一書簡]	昭和17年7月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(菅忠雄君が…急になくなって)	
柴田 4 44	[河野與一書簡]	昭和17年7月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大庭君の御母堂は昨日無事帰館)	福島県内に転送(転送先を示す紙片貼付)
柴田 4 45	[河野與一書簡]	昭和17年7月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御葉書拝見、それは御心配ですね)	同上か(転送先を示す紙片破損)
柴田 4 46	[河野與一書簡]	昭和17年7月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お兄様の御不幸お悔やみ申します)	福島県内に転送
柴田 4 47	[河野與一書簡]	昭和17年8月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君を見送って博物館に行き…発熱)	
柴田 4 48	[河野與一書簡]	昭和17年8月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(まだねたり起きたりしてみます)	
柴田 4 49	[河野與一書簡]	昭和17年9月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日小宮さんに久々に会って)	
柴田 4 50	[河野與一書簡]	昭和17年9月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(キケロを…大体英語で読んで)	
柴田 4 51	[河野與一書簡]	昭和17年10月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(チェコの歌が手に入った)	消印「護れ遺家族傷病兵」
柴田 4 52	[河野與一書簡]	昭和17年10月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(チェコ語の字引は…イタリヤは…)	
柴田 4 53	[河野與一書簡]	[昭和17年]10月31日	河野與一	原稿用紙6枚(裏使用)	柴田治三郎宛。(小宮さんはお母様がなくなった由)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 54	〔河野與一書簡〕	〔昭和17年力〕12月5日	河野與一	罫紙3枚 (表裏使用)	柴田治三郎宛。(熊谷内科の医局の…もと鷗外会にみた…がひきうけて)	
柴田 4 55	〔河野與一書簡〕	昭和18年1月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(るす番がない…ここから通ほう)	
柴田 4 56	〔河野與一書簡〕	昭和18年2月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明晩発って仙台へ行きますが)	
柴田 4 57	〔河野與一書簡〕	昭和18年2月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ウンディーネは失敗しましたね)	
柴田 4 58	〔河野與一書簡〕	昭和18年2月〔28日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(廿日無理してL先生を…見送って)	消印「求めよ国債銃後の力」、日付「二月末日」
柴田 4 59	〔河野與一書簡〕	昭和18年3月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(女中が来た…又築館にゐる)	
柴田 4 60	〔河野與一書簡〕	昭和18年3月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(プラトンもよみかけ…ホームーは)	
柴田 4 61	〔河野與一書簡〕	昭和18年3月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(廿一日に祖父の二十七回忌を)	消印「二三〇億郵便貯金でもう一押し」
柴田 4 62	〔河野與一書簡〕	昭和18年4月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日千秋夫妻来訪、元気です)	
柴田 4 63	〔河野與一書簡〕	昭和18年4月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋さんに会ひ…激励してやり給へ)	
柴田 4 64	〔河野與一書簡〕	昭和18年4月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(永年の宿題…梵語初歩に没頭)	
柴田 4 65	〔河野與一書簡〕	〔昭和18年〕5月3日	河野與一	便箋3枚	柴田治三郎宛。(三月廿五日から始めた梵語が)	表裏使用、切手ハガレ
柴田 4 66	〔河野與一・大庭征露書簡〕	昭和18年5月8日	河野與一/大庭征露	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(岡本さんの一周忌…南陽へ)	山形市千歳山の写真
柴田 4 67	〔河野與一書簡〕	〔昭和18年力〕6月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子が胃潰瘍の気味で)	2銭官製葉書使用、「岡本さんの蔵書は一高へ寄付」云々あり
柴田 4 68	〔河野與一書簡〕	昭和18年6月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(モリエールは注のついた本が)	
柴田 4 69	〔河野與一書簡〕	昭和18年6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(高橋里美さんあたりの勢に捲かれ)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 70	〔河野與一書簡〕	昭和18年7月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(君が心配する哲学には依然入って行かない心組です)	消印「兵は戦線我等は国債」
柴田 4 71	〔河野與一・大庭征露書簡〕	昭和18年7月23日	河野與一/大庭	葉書1枚	柴田治三郎宛。(近いうち京阪迄出かけます)	
柴田 4 72	〔河野與一書簡〕	昭和18年7月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小さい女中を連れて帰ることになり)	
柴田 4 73	〔河野與一書簡〕	昭和18年7月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(女中のお蔭で僕は静居が出来ます)	
柴田 4 74	〔河野與一書簡〕	昭和18年8月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(京都では落合さんとばかり話した…二十年來の知合で)	
柴田 4 75	〔河野與一書簡〕	昭和18年8月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大阪まで人を取りに行った)	不在返送の紙片あり
柴田 4 76	〔河野與一書簡〕	昭和18年8月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(仙台の毎日は気疲れが大変でせう)	
柴田 4 77	〔河野與一書簡〕	昭和18年9月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あれからもPlaton一向進まず)	
柴田 4 78	〔河野與一書簡〕	昭和18年9月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三枚続きの葉書拝見)	
柴田 4 79	〔河野與一書簡〕	昭和18年9月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一月の講義もどうなる事やら)	
柴田 4 80	〔河野與一書簡〕	昭和18年10月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(東京の文科が仙台に行くというデマ)	
柴田 4 81	〔河野與一書簡〕	〔年未詳〕10月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(築館では…エウリピデスを続ける)	2銭官製葉書使用(昭和19年4月1日改定の前)
柴田 4 82	〔河野與一書簡〕	昭和18年10月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(池田君昨日会ひまし)	
柴田 4 83	〔河野與一書簡〕	昭和18年10月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(十八日附(1)唯今拝)	
柴田 4 84	〔河野與一書簡〕	昭和18年11月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(菱田君が奥さんと赤ちゃんをつれて)	
柴田 4 85	〔河野與一書簡〕	〔年未詳〕11月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ヘッカーさん…手紙と本と受け取り)	2銭官製葉書使用(昭和19年4月1日改定の前)
柴田 4 86	〔河野與一書簡〕	〔年未詳〕11月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お送りしたパーシヴルの英語小本)	2銭官製葉書使用(昭和19年4月1日改定の前)
柴田 4 87	〔河野與一書簡〕	昭和18年11月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(林檎を又送って頂いた由)	
柴田 4 88	〔河野與一書簡〕	〔年未詳〕12月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(九時の急行で又北へ向ひます)	宛先から昭和15年以降、2銭官製葉書使用から18年以前と推定

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 89	〔河野與一書簡〕	昭和19年4月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今朝矢崎君久々に現れたが)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 90	〔河野與一書簡〕	昭和19年4月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小包本廿二日の朝無事到着)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 91	〔河野與一書簡〕	昭和19年4月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(杉並区天沼…河盛好蔵君へ)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 92	〔河野與一書簡〕	昭和19年5月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(プラトンのあとはツキヂデス)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 93	〔河野與一書簡〕	昭和18年5月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お疲れがひどいやうで心配してゐる)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 94	〔河野與一書簡〕	昭和19年6月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(田辺が帰ってから疲れが出て)	2銭官製葉書に1銭切手貼付
柴田 4 95	〔河野與一書簡〕	昭和19年6月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Thukydidisも遅々として進まず)	
柴田 4 96	〔河野與一書簡〕	昭和19年6月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(田辺重三が十一年ぶりに来て)	
柴田 4 97	〔河野與一書簡〕	昭和19年7月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(家内…六月廿三日入院(大腸))	
柴田 4 98	〔河野與一書簡〕	昭和19年8月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(内も外もひっくり返るやうな騒ぎ)	
柴田 4 99	〔河野與一書簡〕	昭和19年9月〔26〕日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(長町の妹の家は水害に遭って)	2銭の未納不足料金領収證添付、ペン書きの上に毛筆で筆記
柴田 4 100	〔河野與一書簡〕	〔昭和19年〕10月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ツキヂデスの次にアリストファネス)	3銭官製葉書使用
柴田 4 101	〔河野與一書簡〕	〔昭和19年〕11月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(引籠ってアリストファネスを読んで)	3銭官製葉書使用
柴田 4 102	〔河野與一書簡〕	昭和20年1月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久々に小宮さんに会った)	「一銭別納」のスタンプあり
柴田 4 103	〔河野與一書簡〕	昭和20年3月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(近頃はない貴重品も拝受)	私製葉書使用、切手ハガレ、印刷「轉居御通知」など
柴田 4 104	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年4月5日〕	河野與一	用紙2枚	柴田治三郎宛。(先月…廿五日大庭家にあつた荷物をすっかり移し、たま子はそこに住むことに)	東北帝国大学法文学部の封筒使用、切手ハガレ
柴田 4 105	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕5月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(月末から一週間伊勢崎の工場迄)	3銭官製葉書に2銭切手貼付(昭和20年4月1日改定)

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 106	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(伊勢崎も石崎君と…面白かった)	私製葉書に切手2枚貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 107	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕7月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(九日夜仙台空襲…理学部法文とも木造全部灰燼)	私製葉書に5銭切手貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 108	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕8月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今のところキケロ…とプーンキン)	私製葉書に5銭切手貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 109	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕9月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(少し神経痛の気味で…出仙せず)	私製葉書に5銭切手貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 110	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕10月6日	河野與一	用紙4枚	柴田治三郎宛。(太田さんが…危篤です癌では…)	太田正雄は10月15日逝去
柴田 4 111	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕10月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(築館中学の…原次郎君に)	私製葉書に5銭切手貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 112	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕10月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(四十年前の今日は午前曇)	私製葉書に5銭切手貼付、仙台の住所を消し築館の住所書き入れの葉書使
柴田 4 113	〔河野與一書簡〕	〔昭和20年〕11月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Hegelがなかなかつかないので)	
柴田 4 114	〔河野與一書簡〕	〔昭和21年〕1月22日	河野與一	本文便箋2枚、追加1枚(一部欠)	柴田治三郎宛。(ライプニッツ…今年は生誕三百年)	封筒に書留の印あり、切手ハガシ
柴田 4 115	〔河野與一書簡〕	〔昭和21年〕2月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小為替…東家にお渡…困ります)	
柴田 4 116	〔河野與一書簡〕	〔昭和21年〕4月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(村岡さん十三日になくなりました)	村岡典嗣は4月13日逝去
柴田 4 117	〔河野與一書簡〕	昭和21年6月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Mgt君のこと承諾の旨…お知らせ)	宛名に「公用」の添え書きあり
柴田 4 118	〔河野與一書簡〕	昭和28年3月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(こちらもこのところ多忙です)	
柴田 4 119	〔河野與一書簡〕	昭和28年8月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(目下ポーランド語で悪戦苦闘中)	
柴田 4 120	〔河野與一書簡〕	昭和28年9月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(中村光夫君と二葉亭をやることに)	河野與一/中村光夫編『二葉亭四迷全集』(岩波書店、1964.9-1965.5)
柴田 4 121	〔河野與一書簡〕	昭和28年12月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日沢柳君が岩波に見えて)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 122	〔河野與一・多麻書簡〕	昭和29年3月31日	河野與一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(重い腰を上げ熱海と箱根へ二泊づつ)	葉書の裏面に與一、表下部に多麻の文章
柴田 4 123	〔河野與一書簡〕	昭和29年10月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小生訳文は改めて君に進呈します)	岩波書店葉書使用(差出部分に住所等印刷済)
柴田 4 124	〔河野與一書簡〕	昭和29年11月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(土曜お泊り下さいませんか)	
柴田 4 125	〔河野與一書簡〕	[昭和29年]12月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週金曜日御訳稿読合せ終了)	
柴田 4 126	〔河野與一書簡〕	昭和30年2月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二週間ばかり前にある海上火災保険会社のたのみでスウェーデン語の)	
柴田 4 127	〔河野與一書簡〕	昭和30年2月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ドンキホーテとハムレットは進行中)	
柴田 4 128	〔河野與一・多麻書簡〕	昭和30年3月6日	河野與一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週から歯槽膿漏とやらで)(黒光女史も春をまたず天上でしまひ)	最初與一が書いた文章の行間に多麻が書き入れたものか、相馬黒光は3月2日逝去
柴田 4 129	〔河野與一書簡〕	昭和30年3月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(いつぞや小町谷君の紹介で)	
柴田 4 130	〔河野與一書簡〕	昭和30年4月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(思想四月号に小宮さんの回顧が)	
柴田 4 131	〔河野與一書簡〕	昭和30年6月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(フランスの小説をよまされてみる)	
柴田 4 132	〔河野與一書簡〕	昭和30年6月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(レクラムは…見つかりました)	
柴田 4 133	〔河野與一書簡〕	昭和30年8月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(H夫人の手紙の写しありがたう)	
柴田 4 134	〔河野與一書簡〕	昭和30年8月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ロシア語夏休終り明日から又)	
柴田 4 135	〔河野與一書簡〕	昭和30年9月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(いやな思ひをさせてお気の毒です)	
柴田 4 136	〔河野與一書簡〕	昭和30年9月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(上智大学のミュージーラー師…会った)	
柴田 4 137	〔河野與一書簡〕	昭和30年11月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小生の還暦など…まっぴら御免)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 138	〔河野與一書簡〕	昭和30年11月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(いつも罪のない君に悪態をつく)	
柴田 4 139	〔河野與一書簡〕	昭和30年11月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ドストエフスキイの人の悪さは)	
柴田 4 140	〔河野與一書簡〕	昭和30年12月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小生還暦の件で少し叱られました)	
柴田 4 141	〔河野與一書簡〕	昭和31年2月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(シグフリッドの…訳を大至急に)	
柴田 4 142	〔河野與一書簡〕	昭和31年2月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ドイツ語塾へ御寄贈頂きましたが)	
柴田 4 143	〔河野與一書簡〕	昭和31年3月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御多忙中両方へお知らせ頂き)	
柴田 4 144	〔河野與一書簡〕	昭和31年4月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(原二郎君…退院できるとか)	
柴田 4 145	〔河野與一書簡〕	昭和31年6月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(漱石全集小引に君の病状を描いて)	
柴田 4 146	〔河野與一書簡〕	昭和31年9月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(辞引も…暫く休みにしてゐますが)	
柴田 4 147	〔河野與一書簡〕	昭和31年9月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(沢柳君やっと退院しました)	
柴田 4 148	〔河野與一書簡〕	昭和31年9月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Löwith大略読みまし	
柴田 4 149	〔河野與一書簡〕	昭和31年9月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三岡君が珍しくたよりをくれました)	
柴田 4 150	〔河野與一書簡〕	昭和31年10月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(還暦なんかになるのが悪いと云ふ)	
柴田 4 151	〔河野與一書簡〕	昭和31年10月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(かれこれ一週間引続き事があって)	
柴田 4 152	〔河野與一書簡〕	昭和31年11月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あの晩以後事が多くて弱りました)	
柴田 4 153	〔河野與一書簡〕	昭和32年1月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(新年おめでたう大分おくれましたが)	
柴田 4 154	〔河野與一書簡〕	昭和32年1月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日は辞退に漕ぎつける迄半日)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 155	〔河野與一書簡〕	昭和32年3月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(野上夫人のお祝ひの席で小宮さんと隣合せに座らされて君の噂をしました)	
柴田 4 156	〔河野與一書簡〕	昭和32年5月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ノルウェイ語の子供の本…読了)	
柴田 4 157	〔河野與一書簡〕	昭和32年5月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今夜発って築館と鶯沢へ行き)	
柴田 4 158	〔河野與一・多麻書簡〕	昭和32年6月3日	河野與一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先日はわざわざ山形までおいで頂きあとおさはりはないかと心配)	多麻の文章が表下部にあり
柴田 4 159	〔河野與一書簡〕	昭和33年1月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今年はコルネリアさんをやめにして)	
柴田 4 160	〔河野與一書簡〕	昭和33年1月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今朝かき到着しまし	
柴田 4 161	〔河野與一書簡〕	昭和33年1月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(追いかけてお葉書二枚続き到着)	
柴田 4 162	〔河野與一書簡〕	昭和33年2月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御訂正ありがたう第三刷で直す)	
柴田 4 163	〔河野與一書簡〕	昭和33年3月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ドイツ語塾は…又ぼつぼつやって)	
柴田 4 164	〔河野與一書簡〕	昭和33年6月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(少し弱ってゐられる由お案じして)	
柴田 4 165	〔河野與一書簡〕	昭和33年8月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夜又沢柳夫人を見舞った)	
柴田 4 166	〔河野與一書簡〕	昭和33年8月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明後廿九日東北の長老達を集める)	
柴田 4 167	〔河野與一書簡〕	昭和33年10月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三宅…と一緒にお二人に招かれ)	
柴田 4 168	〔河野與一書簡〕	昭和33年10月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(訳はさう悪いとは思はなかった)	
柴田 4 169	〔河野與一書簡〕	昭和34年2月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(暖かい冬…風邪も引かず)	
柴田 4 170	〔河野與一書簡〕	昭和34年10月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(多麻子の仕事の校正を引き受けて)	
柴田 4 171	〔河野與一書簡〕	昭和34年11月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Löwith氏の貴訳…貰ったのに)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 172	〔河野與一書簡〕	昭和34年11月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久保博士の論文要旨…入手)	
柴田 4 173	〔河野與一書簡〕	昭和35年5月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(山鹿君からニーチェを頂きました)	
柴田 4 174	〔河野與一書簡〕	昭和35年6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮先生に源平からことづかり)	
柴田 4 175	〔河野與一書簡〕	昭和35年7月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Heideggerの…何か聴いてみませんか)	
柴田 4 176	〔河野與一書簡〕	昭和35年7月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(秋まで学校を怠ける工夫をして下さい)	
柴田 4 177	〔河野與一書簡〕	昭和35年9月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今月下旬Homerosを了ってから)	
柴田 4 178	〔河野與一書簡〕	昭和35年10月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(血沈も50が25になり又来週測って)	
柴田 4 179	〔河野與一書簡〕	昭和35年10月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(急拵へのポルトガル語では)	
柴田 4 180	〔河野與一書簡〕	昭和35年10月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(忙しさお察し下さい御本の御礼も)	
柴田 4 181	〔河野與一書簡〕	昭和36年12月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(義理の訪問が年末に押せ押せに)	
柴田 4 182	〔河野與一書簡〕	昭和37年〔2月4日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(嫌ひな軍隊の話など全く以て酔興)	日付「節分の夜」
柴田 4 183	〔河野與一書簡〕	昭和37年5月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮老…黯澹とせざるを得ない)	
柴田 4 184	〔河野與一書簡〕	昭和37年7月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ネリさんのは私費出版…中野区)	
柴田 4 185	〔河野與一書簡〕	昭和37年8月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今朝特に早く起きて沓掛町へ)	
柴田 4 186	〔河野與一書簡〕	昭和37年9月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(唯今頂いた本の顔触を見て)	
柴田 4 187	〔河野與一書簡〕	昭和37年11月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日は鈴木一郎原二郎…来訪)	
柴田 4 188	〔河野與一書簡〕	昭和37年12月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(西洋行…御手配…取止めにして)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 189	[河野與一書簡]	昭和38年3月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(旅券下付のこと…うまく行きそう)	
柴田 4 190	[河野與一書簡]	昭和39年5月8日	河野與一	便箋3枚	柴田治三郎宛。(里美さんの訃報…明晩は沢柳君の新居に招かれてあるのでお葬式は失礼)	速達、岩波書店封筒使用、速達区域外の付箋あり、高橋里美は5月6日逝去
柴田 4 191	[河野與一書簡]	昭和39年7月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小生は毎日…座敷牢、細君は…)	
柴田 4 192	[河野與一書簡]	昭和39年10月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(身の廻りを元通り散らかすために)	
柴田 4 193	[河野與一書簡]	昭和39年10月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(戸張智雄君…義理もあって)	
柴田 4 194	[河野與一書簡]	昭和40年1月17日	河野與一	便箋3枚	柴田治三郎宛。(松川嬢は…再び修士課程に戻って勉強することになるから東北行は)	速達、速達区域外の付箋あり
柴田 4 195	[河野與一書簡]	昭和40年5月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(中勘助さんがなくなった)	
柴田 4 196	[河野與一書簡]	昭和40年6月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本多…真方と仙台の風が吹いて)	
柴田 4 197	[G.Hombrady書簡]	昭和40年6月13日	G.S.Hombrady c/o Prof Y. Kono	便箋1枚	Professor Shibata宛(東京で会えないのは残念でした)	河野與一気付のため、便宜的にここに収める
柴田 4 198	[河野與一書簡]	昭和40年10月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(学校の騒ぎは収まりましたか)	
柴田 4 199	[河野與一書簡]	昭和40年11月7日	河野與一	便箋4枚	柴田治三郎宛。(京都時代の年若の友人渋谷信雄)	
柴田 4 200	[河野與一書簡]	昭和41年3月1日	河野與一	便箋3枚	柴田治三郎宛。(今八杉先生のお葬式から戻って…兄弟子の小宮さんがああいふ風なので)	速達、速達区域外の朱印あり
柴田 4 201	[河野與一書簡]	昭和41年3月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(四月一日…岩波にみますから)	速達(30円切手貼付)
柴田 4 202	[河野與一書簡]	[昭和41年]5月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(安倍さんやっと明後日退院)	安倍は昭和40年12月から年末に入院し、年明け2月23日再入院、5月末頃退院の噂があったが、入院したまま6月7日急逝

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 203	〔水曜会通知〕	昭和41年6月26日	水曜会世話人	葉書1枚	柴田治三郎宛(水曜会だより(一)…毎年五月三日の御命日に会を)	5月3日に逝去した小宮豊隆を偲ぶ会の連絡、印刷の文面
柴田 4 204	〔河野與一書簡〕	昭和41年7月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君もしかしよく行ってあげたと)	2円切手貼付(昭和41年7月1日より葉書7円)
柴田 4 205	〔河野與一書簡〕	昭和41年8月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ヘッカーさんからは返事が来ない)	
柴田 4 206	〔河野與一書簡〕	昭和41年12月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(年の暮か人生の暮)	
柴田 4 207	〔河野與一書簡〕	昭和42年2月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(東北へ行った洋書の始末は)	「反戦平和ストライキ支持の声明」宛官製葉書を転用
柴田 4 208	〔河野與一書簡〕	昭和42年3月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(榊に縁があり…老来唯寂莫)	
柴田 4 209	〔河野與一書簡〕	昭和42年4月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮文庫…手打になったそう)	
柴田 4 210	〔河野與一書簡〕	昭和42年4月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(風邪が抜けた…歯を抜かれ)	
柴田 4 211	〔河野與一書簡〕	昭和42年4月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夜早く臥て今朝は五時に起き)	
柴田 4 212	〔河野與一書簡〕	昭和42年4月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ヘッカーさんの訃報に接して)	
柴田 4 213	〔河野與一書簡〕	昭和42年4月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(横文字物は…特に北欧系は苦手)	「東京都…佐々木明行」官製葉書を転用
柴田 4 214	〔河野與一書簡〕	昭和42年8月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(西谷啓治君がHamburgへ行く前に)	
柴田 4 215	〔河野與一書簡〕	昭和42年8月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(この間Löwithから私の名を)	
柴田 4 216	〔河野與一書簡〕	[昭和42年カ]8月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(近所に住む古川君が…昨日小宮家へ行って遺蔵書の件を話した由)	岩波書店印刷の5円官製葉書に2円切手を貼り使用、
柴田 4 217	〔河野與一書簡〕	昭和42年11月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(宇野君の古稀の賀に飛入りしたら)	
柴田 4 218	〔河野與一書簡〕	昭和42年11月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(レヴィットさんの新訳ありがとう…一息で読みました)	1円切手2枚貼付
柴田 4 219	〔河野與一書簡〕	昭和42年12月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君のLöwithに触発されてHegelの)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 220	〔河野與一書簡〕	昭和42年〔月日未詳〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(語学の好きな工学士深堀佐市君がスウェーデン語で…読み始めましたが)	5円官製葉書に2円切手貼付
柴田 4 221	〔河野與一書簡〕	昭和43年3月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎/ちあき宛。(火曜日が一高の寮の同窓会)	
柴田 4 222	〔河野與一書簡〕	昭和43年4月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(忌日には午後小宮邸で集まる由)	
柴田 4 223	〔河野與一書簡〕	昭和43年4月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(今朝の便でL先生から委されましたので)	
柴田 4 224	〔河野與一書簡〕	昭和43年6月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(曇り日に時々薄日がさすような)	
柴田 4 225	〔河野與一書簡〕	昭和43年7月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子を湯に漬けるため…熱海の)	
柴田 4 226	〔河野與一書簡〕	昭和43年8月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久しぶりに沢柳君が岩波に寄って)	
柴田 4 227	〔河野與一書簡〕	昭和43年9月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(若き日のL氏夫妻の写真を眺め)	
柴田 4 228	〔河野與一書簡〕	昭和43年9月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先程は相客になって失敬)	
柴田 4 229	〔河野與一書簡〕	昭和43年10月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小包唯今拝受、革も上等)	
柴田 4 230	〔河野與一書簡〕	昭和43年12月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(細君九月なかば…白内障を手術)	
柴田 4 231	〔河野與一書簡〕	昭和44年1月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子七日手術、経過良好)	
柴田 4 232	〔河野與一書簡〕	昭和44年10月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(落合さんの逝去…弟子の急逝で)	
柴田 4 233	〔河野與一書簡〕	昭和44年10月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小生神経痛では…御心配をかけ)	
柴田 4 234	〔河野與一書簡〕	昭和44年11月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(最近新書に宇野君の本が出て)	
柴田 4 235	〔河野與一書簡〕	昭和45年9月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋さんの入院…悪質の病気)	
柴田 4 236	〔河野與一書簡〕	昭和45年10月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鹿子木先生の令息から…遺贈書)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 237	〔河野與一書簡〕	昭和45年10月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋さん…ポリプを二つ取除いて)	
柴田 4 238	〔河野與一書簡〕	昭和45年12月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(思想のを…昨夜やっ と拝見)	
柴田 4 239	〔河野與一書簡〕	昭和45年12月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明治少年節用…一 寸貸して)	
柴田 4 240	〔河野與一書簡〕	昭和45年12月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日ひる中村吉治君 来社)	
柴田 4 241	〔河野與一書簡〕	昭和46年1月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(少年節用…唯今届き ました)	
柴田 4 242	〔河野與一書簡〕	昭和46年1月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(節用…森銑三さんの 処へ廻し)	
柴田 4 243	〔河野與一書簡〕	昭和46年5月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(来年は七周忌…少し 大がかりに)	
柴田 4 244	〔河野與一書簡〕	昭和46年6月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(元の美しい広場が赤 の広場と)	
柴田 4 245	〔河野與一書簡〕	[年未詳]8月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明日が立秋といふの にこの暑さ…たま子…北軽井沢のお 弟子のうちへ行き)	8月で7円葉書使用から昭和41年～46 年の間
柴田 4 246	〔河野與一書簡〕	昭和46年10月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あの日はお引留めし て御迷惑を)	
柴田 4 247	〔河野與一書簡〕	昭和47年3月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(唯今福井から結構な おさかなが)	
柴田 4 248	〔河野與一書簡〕	昭和47年4月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(カード拝見、いづれ御 相談と)	
柴田 4 249	〔河野與一書簡〕	昭和47年5月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(禁酒禁煙禁浴で熱海 に一週間)	
柴田 4 250	〔河野與一書簡〕	昭和47年11月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明後日朝…胃液を取 られ)	
柴田 4 251	〔河野與一書簡〕	昭和48年1月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(この正月は…熱海行 が取止めに)	
柴田 4 252	〔河野與一書簡〕	昭和48年5月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日大仏次郎のお葬 式も不参)	
柴田 4 253	〔河野與一書簡〕	昭和48年8月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(L先生の事書いて… ありがとう)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 254	[河野與一書簡]	昭和49年7月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(論文なるもの六月廿四日発送)	
柴田 4 255	[河野與一書簡]	昭和49年8月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(塩原の奥の元湯…細君への義理)	
柴田 4 256	[河野與一書簡]	昭和49年9月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御飯が問へる…バリウムを)	
柴田 4 257	[河野與一書簡]	昭和49年11月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(十日に岩波ホールで…観る羽目)	
柴田 4 258	[河野與一書簡]	昭和49年[12月9日]	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明日はひる博物館夜岩波ホール)	
柴田 4 259	[河野與一書簡]	昭和49年12月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(学校…安心のできない場所)	
柴田 4 260	[河野與一書簡]	[年未詳]2月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お誕生日おめでとう)	2月で10円葉書使用から昭和47~50年の間
柴田 4 261	[河野與一書簡]	昭和50年3月3日	河野與一	便箋3枚	柴田治三郎宛。(一月廿六日苦痛なしに息を引取)	玉虫厨子金具文様の入った封筒使用、妹逝去関係
柴田 4 262	[河野與一書簡]	昭和50年3月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(四月三日が宗吉夫婦の結婚記念日…今度は茂太夫妻と輝子刀自も招く)	
柴田 4 263	[河野與一書簡]	昭和50年5月5日	河野與一	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(西鶴学者野間光辰君にも会ふ)	モスクワ大学講義室の写真、メモ「亡妹の百ヶ日」
柴田 4 264	[河野與一書簡]	[年未詳]5月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(長逗留でお疲れでしたらう…森銑三会はどうでした)	5月で10円葉書使用から昭和47~50年の間
柴田 4 265	[河野與一書簡]	昭和50年6月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日快気祝の御品到着)	
柴田 4 266	[河野與一書簡]	昭和50年7月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先輩の忌日を追って…昨日児島さんの日には雨の中夫人を訪ねて)	
柴田 4 267	[河野與一書簡]	昭和50年8月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子…気管支をやられ)	
柴田 4 268	[河野與一書簡]	昭和50年9月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(沢柳君…亡友田辺重三の聖心女子大学祭にも来てくれました)	
柴田 4 269	[河野與一書簡]	昭和50年10月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(京都栴ノ尾高山寺に晋山式といふものがあって招かれて行	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 270	〔河野與一書簡〕	昭和50年11月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(神戸の義弟が病院で亡くなり)	
柴田 4 271	〔河野與一書簡〕	昭和50年12月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Homerの他に毎日読むことにしたZolaがその割りには進みません)	
柴田 4 272	〔河野與一書簡〕	昭和50年12月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(毎年一度岩波邸に集まる晩が明日になりました、七面鳥が出ます)	
柴田 4 273	〔河野與一書簡〕	昭和50年12月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(午後の来客は根岸進、澤柳大五郎、大野木克彦)	
柴田 4 274	〔河野與一書簡〕	昭和51年1月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(熱海には原君が一寸寄りました)	
柴田 4 275	〔河野與一書簡〕	昭和51年2月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(武蔵野女子大学には東北出が)	10円官製葉書に10円切手貼付(1月25日より葉書20円)
柴田 4 276	〔河野與一書簡〕	昭和51年2月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(午前北陸の小鯛到	10円官製葉書に10円切手貼付
柴田 4 277	〔河野與一書簡〕	昭和51年2月〔5日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小鯛の包みをあけましたところ)	10円官製葉書に10円切手貼付、差出日「立春日」とあり
柴田 4 278	〔河野與一書簡〕	昭和51年2月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(毎度忌日の話ばかりで恐縮ですが)	
柴田 4 279	〔河野與一書簡〕	昭和51年3月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(高橋里美夫人来訪)	10円官製葉書に10円切手貼付
柴田 4 280	〔河野與一書簡〕	昭和51年4月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は矢崎の命日なので)	10円官製葉書に10円切手貼付
柴田 4 281	〔河野與一書簡〕	昭和51年4月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今夜は北杜夫夫妻に招かれて)	
柴田 4 282	〔河野與一書簡〕	昭和51年5月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は小宮さんの満十年)	
柴田 4 283	〔河野與一書簡〕	昭和51年5月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(どっちを向いても年寄りばかり)	
柴田 4 284	〔河野與一書簡〕	昭和51年7月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鎌倉の中村吉治君から電話があり)	10円官製葉書に10円切手貼付
柴田 4 285	〔河野與一書簡〕	昭和51年8月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(知人の病氣見舞の他にニュースなし)	
柴田 4 286	〔河野與一書簡〕	昭和51年9月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(宮澤の場合はまだしも相良の事)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 287	〔河野與一書簡〕	昭和51年11月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(済んでいない事柄が多くて)	
柴田 4 288	〔河野與一書簡〕	昭和51年〔12月9日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子奈良の妹の亭主が亡くなったので昨日かけつけた、小生明日日帰り)	差出日「漱石忌」
柴田 4 289	〔河野與一書簡〕	昭和51年12月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先ほど澤柳君来訪少し肥ったやう)	
柴田 4 290	〔河野與一書簡〕	昭和52年1月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(宮澤俊義の随筆集を学生社)	
柴田 4 291	〔河野與一書簡〕	昭和52年1月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(老人連集まると病気の話ばかり)	
柴田 4 292	〔河野與一書簡〕	昭和52年3月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(永患ひしてみた宇野を今日見送った…葬儀委員長を勤めてくれた小町谷君)	
柴田 4 293	〔河野與一書簡〕	昭和52年3月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋一君は君の手紙に感謝の意を)	
柴田 4 294	〔河野與一書簡〕	昭和52年3月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(土居さんの著作集が岩波から出る)	
柴田 4 295	〔河野與一書簡〕	昭和52年4月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(五月四日…特に一年繰上げの年忌といふことにこだはりを感じて出席)	
柴田 4 296	〔河野與一書簡〕	昭和52年5月17日	河野與一	月報1部	柴田治三郎宛。「木下杢太郎全集月報13」のみ残存	河野「太田さんとの内証話」掲載
柴田 4 297	〔河野與一書簡〕	昭和52年7月20日	河野與一	便箋1枚 とのし袋	柴田治三郎宛。(まだご入院の由大分永くかかりましたね、先々週木曜日に熱海から戻り)	現金書留封筒使用、袋ウワ書「御見舞與一/多麻」
柴田 4 298	〔河野與一書簡〕	昭和52年9月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(やっと石原夫人・安倍夫人へ挨拶にあがりました)	
柴田 4 299	〔河野與一書簡〕	昭和52年9月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は三木清の三十三回忌だ)	
柴田 4 300	〔河野與一書簡〕	昭和52年10月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(木犀が匂ひ始めた頃…秋を覚え)	
柴田 4 301	〔河野與一書簡〕	昭和52年10月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(神戸は横浜と違ってうしろに山)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 302	[河野與一書簡]	昭和52年10月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二十日がたま子の弟の三周忌)	
柴田 4 303	[河野與一書簡]	昭和52年11月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(箕面の紅葉…人人人でした)	
柴田 4 304	[河野與一書簡]	昭和52年12月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(医者に診てもらってから岩波へ)	
柴田 4 305	[河野與一書簡]	昭和52年12月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(病師病友の事…お知らせ下さって)	
柴田 4 306	[河野與一書簡]	昭和53年1月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久々に沢柳君と電話で話して岳父)	
柴田 4 307	[河野與一書簡]	昭和53年1月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久しぶりの大揺れで一丈熱海の別荘を心配した)	
柴田 4 308	[河野與一書簡]	昭和53年1月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Löwith夫人から印税がちっとも来ないが私はまだ生きてゐると言ってきた)	速達、切手2枚150円分貼付
柴田 4 309	[河野與一書簡]	昭和53年1月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ポーランド語の字引を三四冊)	
柴田 4 310	[河野與一書簡]	昭和53年1月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今度のはかなりこたへる、尤も悪性のものだったことは…聞いてみたから)	
柴田 4 311	[河野與一書簡]	昭和53年2月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(加藤淑子先生が今日「茂吉と医学」を持って来てくれました)	
柴田 4 312	[河野與一書簡]	昭和53年2月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(田中隆尚君が現れ瑞典へ招かれて日本文化の講義をすることになった由)	
柴田 4 313	[河野與一書簡]	昭和53年2月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(茂吉さん借出しの本の事ありがとう)	
柴田 4 314	[河野與一書簡]	昭和53年2月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(去年は晩春から後次々と親しい人に行かれ…具合が悪くて吊ひが)	
柴田 4 315	[河野與一書簡]	昭和53年2月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今使つてゐる紫檀の矢立の由来)	
柴田 4 316	[河野與一書簡]	昭和53年2月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今月の下旬は忌日が続く)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 317	〔河野與一書簡〕	昭和53年2月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は野上喜一郎氏の忌日)	
柴田 4 318	〔河野與一書簡〕	昭和53年2月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岩波で渉外係の滝口さんからL先生の件解決の旨聞きました)	
柴田 4 319	〔河野與一書簡〕	昭和53年3月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お医者との約束では…夜更かしはしない筈だった)	
柴田 4 320	〔河野與一書簡〕	昭和53年3月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日は一高時代同級の法科の)	
柴田 4 321	〔河野與一書簡〕	昭和53年3月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(起臥が又無軌道になる)	
柴田 4 322	〔河野與一書簡〕	昭和53年4月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(熱海から戻ってL夫人の手紙を)	
柴田 4 323	〔河野與一書簡〕	昭和53年4月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(芭蕉七部集の何処かに)	
柴田 4 324	〔河野與一書簡〕	昭和53年4月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮さんの忌日…今回は車を出して貰って参拝します)	
柴田 4 325	〔河野與一書簡〕	昭和53年4月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(四月三十日は祖母の忌日で)	
柴田 4 326	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(五月三日…十三回忌の墓参に)	
柴田 4 327	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(弔問の件原君に電話して頼み)	
柴田 4 328	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(淳男君のお葬式の日だなと思って)	
柴田 4 329	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(白川静氏の中公新書漢字)	
柴田 4 330	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(中学入学以来の友人嘉治隆一と…中山巍画伯が同じ十九日に亡くなった)	
柴田 4 331	〔河野與一書簡〕	昭和53年5月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日水曜日は六郎の番だが風邪)	
柴田 4 332	〔河野與一書簡〕	昭和53年6月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日三日は大正十二年に佐藤通次君と叡山に泊った日)	
柴田 4 333	〔河野與一書簡〕	昭和53年6月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今göttingenで数学をやっている甥)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 334	〔河野與一書簡〕	昭和53年6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(驚いたでせう、でもお怪我がなくて)	12日夕方宮城県沖地震
柴田 4 335	〔河野與一書簡〕	昭和53年6月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(地震お怪我がなくてよござんした)	
柴田 4 336	〔河野與一書簡〕	昭和53年6月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(NHKの「ほんとにほんと」の係から)	
柴田 4 337	〔河野與一書簡〕	昭和53年7月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(五郎…戸塚の病院でなくなった)	
柴田 4 338	〔河野與一書簡〕	昭和53年7月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(コルセットをつけたまゝ外科の)	
柴田 4 339	〔河野與一書簡〕	昭和53年7月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(西平君の事はよく憶えてゐます)	
柴田 4 340	〔河野與一書簡〕	昭和53年8月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(五郎の三十五日は一日繰り上げて)	
柴田 4 341	〔河野與一書簡〕	昭和53年8月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(普請は殊の他疲れるものだから)	
柴田 4 342	〔河野與一書簡〕	昭和53年8月〔31日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夏のせゐか年のせゐか…大怠け)	差出日「八月晦日」
柴田 4 343	〔河野與一書簡〕	昭和53年9月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(近年異父母弟と称してゐた田内君のことで方々から弔問に接してゐる)	
柴田 4 344	〔河野與一書簡〕	昭和53年9月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(経上げ三周忌の宇野君の法要)	
柴田 4 345	〔河野與一書簡〕	昭和53年10月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(根本画伯夫妻に導かれて日光)	
柴田 4 346	〔河野與一書簡〕	昭和53年10月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(落合太郎先輩の十年忌法要)	
柴田 4 347	〔河野與一書簡〕	昭和53年10月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子を乗せて浦和…初めて行)	
柴田 4 348	〔河野與一書簡〕	昭和53年11月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Homerはこゝ数年)	
柴田 4 349	〔河野與一書簡〕	昭和53年12月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の筆から中村重夫の名が出ようとは…1930年代伯林で時々会ってゐた)	
柴田 4 350	〔河野與一書簡〕	昭和54年1月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨五日の初外出は何と小町谷家弔問)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 351	〔河野與一書簡〕	昭和54年1月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(七草粥と十五日の小豆粥の間に)	
柴田 4 352	〔河野與一書簡〕	昭和54年1月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(殊に忌日の事を気にするたちで)	
柴田 4 353	〔河野與一書簡〕	昭和54年1月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(この間社へ河盛君が来た時)	
柴田 4 354	〔河野與一書簡〕	昭和54年1月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(「行人」…実に厭なものだと思ふ)	
柴田 4 355	〔河野與一書簡〕	昭和54年2月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(前々便は…「中央」に気を取られて「荒巻」を落としたため今戻って来た)	
柴田 4 356	〔河野與一書簡〕	昭和54年2月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岡本さんの遺稿を内弟子たちが再版することになって今日私も加わった)	
柴田 4 357	〔河野與一書簡〕	昭和54年2月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(水野君…夕方帰ったらたま子からひる頃頭亡くなったと聞いて)	
柴田 4 358	〔河野與一書簡〕	昭和54年2月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(母の従姉妹なるお婆さんが池袋に)	
柴田 4 359	〔河野與一書簡〕	昭和54年2月〔28日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(古川久君も…退院、自宅静養中)	差出日「二月末日」
柴田 4 360	〔河野與一・多麻書簡〕	昭和54年3月11日	河野與一 /多麻	葉書1枚	柴田治三郎/御奥様宛。(二度目の停年は三年前に伊三郎を襲ひましたが、そのまゝ講師として実践へ)	
柴田 4 361	〔河野與一書簡〕	昭和54年3月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(眞方君指導…九州五日の旅に出)	
柴田 4 362	〔河野與一書簡〕	昭和54年4月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(九州五日の旅を…無事すませて)	
柴田 4 363	〔河野與一書簡〕	昭和54年4月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(死んだ叔父が…書いた陶淵明の春夏秋冬の古詩を見て感心した)	
柴田 4 364	〔河野與一書簡〕	昭和54年4月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大学院の学生さんが御手伝に来て)	
柴田 4 365	〔河野與一書簡〕	昭和54年4月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は岡本信二郎集の相談会)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 366	〔河野與一書簡〕	昭和54年4月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(論理の先生で今福忍講師という方)	
柴田 4 367	〔河野與一書簡〕	昭和54年6月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(仙台の及川芳子さん(たま子の恩師の令嬢)ががっかりした手紙をくれたので)	
柴田 4 368	〔河野與一書簡〕	昭和54年6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(山形は断念…結局御地に参る)	
柴田 4 369	〔河野與一書簡〕	昭和54年6月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夜のラヂオで上原さんの訃を知)	
柴田 4 370	〔河野與一書簡〕	昭和54年6月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二十五日はサミットで一般の車は)	
柴田 4 371	〔河野與一書簡〕	昭和54年6月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(妙な旅行になり…いろいろ御厄介)	
柴田 4 372	〔河野與一書簡〕	昭和54年7月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昔巖谷小波は引越が好きで)	
柴田 4 373	〔河野與一書簡〕	昭和54年7月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夜は両国の花火を観るといふことになって深川の知人に招かれたが)	
柴田 4 374	〔河野與一書簡〕	昭和54年8月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(…の写真版を先日田村で見つけ)	
柴田 4 375	〔河野與一書簡〕	昭和54年8月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(露伴全集附録月報抄に河野…)	宛名不完全で返送のスタンプあり(「中央」欠)
柴田 4 376	〔河野與一書簡〕	昭和54年8月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(修善寺に行くたま子とその仲間に)	
柴田 4 377	〔河野與一書簡〕	昭和54年8月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(山田九朗君…以前の愛読書だと)	
柴田 4 378	〔河野與一書簡〕	昭和54年9月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(彼岸花を切って田内家霊前に捧げ)	
柴田 4 379	〔河野與一書簡〕	昭和54年9月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一寸胃のあたりに…不快を覚え)	
柴田 4 380	〔河野與一書簡〕	昭和54年9月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大正六年のこと…暴風雨で)	
柴田 4 381	〔河野與一書簡〕	昭和54年10月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(襖障子と畳が新しくなり…さっぱり)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 382	〔河野與一書簡〕	昭和54年10月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ドイツから甥夫婦が…戻った)	
柴田 4 383	〔河野與一書簡〕	昭和54年10月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(次妹の喜寿を祝ふ筈…延期した)	
柴田 4 384	〔河野與一書簡〕	昭和54年11月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子昨日も…勝手口の一つしかない鍵を落とし、学校へ迎へに行った私も)	
柴田 4 385	〔河野與一書簡〕	昭和54年11月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(内臓の病気…皮膚病の方が深刻)	
柴田 4 386	〔河野與一書簡〕	昭和54年11月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(次が土居さん…全く思はなかった)	
柴田 4 387	〔河野與一書簡〕	昭和54年12月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(寿岳章子さんの本で女性的なる)	
柴田 4 388	〔河野與一書簡〕	昭和54年12月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮さんのイタリア紀行がその前)	
柴田 4 389	〔河野與一書簡〕	昭和54年12月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岡崎さんはこの廿七日に米寿)	
柴田 4 390	〔河野與一書簡〕	昭和54年12月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(澤柳君毎年欝かさない年末の来訪)	
柴田 4 391	〔河野與一書簡〕	昭和54年12月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(八日から社に出て十日に熱海へ)	
柴田 4 392	〔河野與一書簡〕	昭和55年1月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(久しぶりに中村吉治君が現れた)	
柴田 4 393	〔河野與一書簡〕	昭和55年1月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日…伊三郎が来たので)	
柴田 4 394	〔河野與一書簡〕	昭和55年1月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ころんた時はゆっくり…全快を)	
柴田 4 395	〔河野與一書簡〕	昭和55年2月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(薬理学の大家岡田正弘君に)	
柴田 4 396	〔河野與一書簡〕	昭和55年2月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今夜も夜更かしをして本を読んで)	
柴田 4 397	〔河野與一書簡〕	昭和55年2月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子の遠い親戚のおばあちゃん)	汚損を詫げる郵便局の付箋付
柴田 4 398	〔河野與一書簡〕	昭和55年2月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一月の末西安村の碑林の拓本)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 399	[河野與一書簡]	昭和55年3月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ガス漏れ…私の座ってゐる部屋)	
柴田 4 400	[河野與一書簡]	昭和55年3月[15日]	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日午後洋さんが岩波へ来た)	差出日「idus(Julius Caesar)の日」
柴田 4 401	[河野與一書簡]	昭和55年3月[20日]	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(偶然に導かれて歩き廻る私の読書)	差出日「彼岸の中日」
柴田 4 402	[河野與一書簡]	昭和55年4月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(去年の四月十三日…花を賞でた)	
柴田 4 403	[河野與一書簡]	昭和55年5月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(疲労困憊…お見舞いありがとう)	
柴田 4 404	[河野與一書簡]	昭和55年6月18日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(この夏休にでも右眼の手術を)	
柴田 4 405	[河野與一書簡]	昭和55年6月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Espresso藤崎より到着…愛用)	
柴田 4 406	[河野與一書簡]	昭和55年6月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二三日前の夢に人の訴訟に関連して相手の希臘人に現代希臘語で話さうと)	
柴田 4 407	[河野與一書簡]	昭和55年6月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(数日前から虚子の物を読んで)	
柴田 4 408	[河野與一書簡]	昭和55年7月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(老友荒川一郎君が生誕三万日目)	
柴田 4 409	[河野與一書簡]	昭和55年7月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君のコーヒー入れ六郎によると)	
柴田 4 410	[河野與一書簡]	昭和55年7月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(六郎は十階に住んでゐるアパートのエレヴェイタが修繕で使へないと言って)	
柴田 4 411	[河野與一書簡]	[年未詳]7月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(同じ本が二部みつかつて学者の恥)	7月で20円葉書使用から昭和51～55年の間
柴田 4 412	[河野與一書簡]	[昭和55年]7月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子廿九日右眼の手術)	
柴田 4 413	[河野與一書簡]	昭和55年8月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子十三日退院自宅で静養すべきところ言ふ事を聴あずに洗濯掃除を)	
柴田 4 414	[河野與一書簡]	昭和55年8月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(たま子その後順調のやうです)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 415	[河野與一書簡]	昭和55年9月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(柴田君の飼っている鳩といふ夢)	
柴田 4 416	[河野與一書簡]	昭和55年9月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛(さつき原君に…叱られた、それまでになほさなくては)	
柴田 4 417	[河野與一書簡]	昭和55年9月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(モーツァルト下の御礼が遅れた)	
柴田 4 418	[河野與一書簡]	昭和55年10月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鷗外…と直訳…こんな語は普通)	
柴田 4 419	[河野與一書簡]	昭和55年10月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(高山は全くの観光用都市で)	
柴田 4 420	[河野與一書簡]	昭和55年11月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昔の友達の事をしきりと思ひ出す)	
柴田 4 421	[河野與一書簡]	昭和55年11月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(折角…意を尽せなかった)	「月の桂にごり酒の会」返信用官製葉書を転用
柴田 4 422	[河野與一書簡]	昭和55年11月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あの晩に別に疲れなかったのに)	
柴田 4 423	[河野與一書簡]	昭和55年11月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(洋一君…岩波の部屋に現れた)	
柴田 4 424	[河野與一書簡]	昭和55年11月〔30日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子の昔のお弟子たちの集まりに初めてよばれて)	差出日「十一月晦日」
柴田 4 425	[河野與一書簡]	昭和55年12月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(葡萄酒の方がお葉書より先に)	
柴田 4 426	[河野與一書簡]	昭和55年12月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(躁期にある洋さんは昨夜大野木夫人の繰上げ一周忌でも)	
柴田 4 427	[河野與一書簡]	昭和55年12月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夜「三高」昭和二年卒業生の会へ)	
柴田 4 428	[河野與一書簡]	昭和55年12月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日岩波へ図らずも原二郎君が)	
柴田 4 429	[河野與一書簡]	昭和56年4月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(三日退院後尚二週間自宅静養)	「丸山薫詩碑建立基金申込」の葉書を転用、30円官製葉書に10円切手貼付
柴田 4 430	[河野與一書簡]	昭和56年4月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子まだ中野で臥してゐる)	
柴田 4 431	[河野與一書簡]	昭和56年4月22日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(お勤めおやめの由)	
柴田 4 432	[河野與一書簡]	昭和56年4月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(事ロシア語に関しては君を相手に言ふ他ない)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 433	〔河野與一書簡〕	昭和56年5月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ヘカーさん百年祭の事を知らせてきた)	20円官製葉書で切手なし、1981年のスタンプあり不審
柴田 4 434	〔河野與一書簡〕	昭和56年5月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨夕が祥月命日の岡本さんのための会…行かないことにします)	20円官製葉書に10円切手2枚貼付
柴田 4 435	〔河野與一書簡〕	昭和56年5月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(戦争から平和に戻って少し楽に)	
柴田 4 436	〔河野與一書簡〕	昭和56年5月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(怠け怠け岩波に二週間通ひ…細君もやっと熱が下って今日は二人で外出)	
柴田 4 437	〔河野與一書簡〕	昭和56年5月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ロシア人作家に繰返しが多いのは)	20円官製葉書で切手なし、1981年のスタンプあり不審
柴田 4 438	〔河野與一書簡〕	昭和56年6月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子…順天堂の北村先生に昨日診てもらった。私も一緒に)	20円官製葉書に20円切手貼付
柴田 4 439	〔河野與一書簡〕	昭和56年6月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(月水も殆ど仕事をしないけれど)	
柴田 4 440	〔河野與一書簡〕	昭和56年6月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(中々為己とは行かないものだ)	
柴田 4 441	〔河野與一書簡〕	昭和56年6月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(段々恢復してゐるやうです)	
柴田 4 442	〔河野與一書簡〕	昭和56年6月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮さんの葉書が出て来ましたが)	
柴田 4 443	〔河野與一書簡〕	昭和56年7月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(明日五日は児島さん)	
柴田 4 444	〔河野與一書簡〕	昭和56年7月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(勲章の件初耳でした)	
柴田 4 445	〔河野與一書簡〕	昭和56年7月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小宮さんが言った、一と頃はレクラムに当るロシア語の小本を臥ころんで)	
柴田 4 446	〔河野與一書簡〕	昭和56年7月31日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(私が伯林で世話になった)	
柴田 4 447	〔河野與一書簡〕	昭和56年8月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(京都の英文を出た藤島昌平君が)	
柴田 4 448	〔河野與一書簡〕	昭和56年8月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鼻風邪実はまだ続いてゐます)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 449	〔河野與一書簡〕	昭和56年8月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(戦争と平和はもう二三日で二巻目を終へる、あと半年近くこれに縛られる)	
柴田 4 450	〔河野與一書簡〕	昭和56年8月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(丁度言はれた通りの事を体験)	
柴田 4 451	〔河野與一書簡〕	昭和56年9月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鈴木一郎君から電話があつて)	
柴田 4 452	〔河野與一書簡〕	昭和56年9月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(人には鼻風邪と言ひながら)	
柴田 4 453	〔河野與一書簡〕	昭和56年9月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の葡萄酒を今日あけた)	
柴田 4 454	〔河野與一書簡〕	昭和56年10月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(循環の先生…抗生物質が効いた)	
柴田 4 455	〔河野與一書簡〕	昭和56年10月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(Borodino会戦の前夜ナポレオン…鼻風邪の事が戦争と平和に出て来た)	
柴田 4 456	〔河野與一書簡〕	昭和56年10月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夢を見る中に…旧友が出て来る)	
柴田 4 457	〔河野與一書簡〕	昭和56年10月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鶴亀問題が西洋の算術教科書に)	
柴田 4 458	〔河野與一書簡〕	昭和56年10月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(母の十七回忌で兄弟だけ寺に)	
柴田 4 459	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月1日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(さう沢山は飲まない…飲めない)	
柴田 4 460	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(原爆反対…急にたま子が関心を)	
柴田 4 461	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(水曜会は欠席…君が出るならその前にお寄り頂けるかと思っている)	
柴田 4 462	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(勇さんには今年到頭会はず…今夜がお通夜ですが夜の外出は避けて)	
柴田 4 463	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本葬は不参…一昨日自宅の密葬に列なった)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 464	〔河野與一書簡〕	昭和56年11月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(眩暈の件早々解決したいものです)	
柴田 4 465	〔河野與一書簡〕	昭和56年12月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週金曜日旧友荒川一郎と一緒にそのお嬢さんの診察を受けました)	
柴田 4 466	〔河野與一書簡〕	昭和56年12月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(値が上がっている…本に限ったことではない)	
柴田 4 467	〔河野與一書簡〕	昭和56年12月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(葡萄酒…到着しましたありがとう)	
柴田 4 468	〔河野與一書簡〕	昭和56年12月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(順天堂へ…入れられて昨夕帰宅)	
柴田 4 469	〔河野與一書簡〕	昭和57年1月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先程順天堂受診写真に陰なし)	
柴田 4 470	〔河野與一書簡〕	昭和57年2月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(左足の痛みは和らいだが)	
柴田 4 471	〔河野與一書簡〕	昭和57年2月16日	河野與一	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日…洋傘を杖にして浜まで行き)	「別荘風離れ家やまだ屋」(伊東市)の絵葉書使用、40円切手貼付
柴田 4 472	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(熱も下がって廿六日伊東を離れ)	
柴田 4 473	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月10日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一昨日晴天の下…無事帰宅)	
柴田 4 474	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月12日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日受診「一まづ卒業」と)	
柴田 4 475	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月14日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の他に適切な共鳴者がゐないから報告します…を読み了りました)	
柴田 4 476	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日曜日…帰りに黄檗展を観て来ました)	
柴田 4 477	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(試運転二日目…病後に気づいた事病気も仕事の一つだ)	
柴田 4 478	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(先週は岩波へ和久利誓一君、宅へ金子幸彦君とロシア語の人が来てくれた)	
柴田 4 479	〔河野與一書簡〕	昭和57年3月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今になって気が附いた事だが),	差出日付下書き入れ「原君の誕生日」

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 480	〔河野與一書簡〕	昭和57年4月2日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(1933年春南仏…急いでバスに乗らうとした時後から…はねとばされた)	
柴田 4 481	〔河野與一書簡〕	昭和57年4月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一昨日原君が訪ねてくれて)	
柴田 4 482	〔河野與一書簡〕	昭和57年4月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(…届いたので昨日から読み始め)	
柴田 4 483	〔河野與一書簡〕	昭和57年4月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(雄二郎さんの岳父高野與作さんの)	
柴田 4 484	〔河野與一書簡〕	昭和57年5月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(熱は下がったが…奈良行は延期)	
柴田 4 485	〔河野與一書簡〕	昭和57年5月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(サツシエイはサツシュイの誤植)	
柴田 4 486	〔河野與一書簡〕	昭和57年5月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(君の葉書を見直したらシュイとなっていた、それなら北京音だった)	
柴田 4 487	〔河野與一書簡〕	昭和57年5月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大正十年なりたての文学士として教壇に立った時のお弟子…十人集まった)	
柴田 4 488	〔河野與一書簡〕	昭和57年6月8日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(五月廿九日の早稲田高等学院時代の諸君の集まりは)	
柴田 4 489	〔河野與一書簡〕	昭和57年6月15日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(みなつきのもちは不尽山の形)	
柴田 4 490	〔河野與一書簡〕	昭和57年7月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(順天堂受診…風邪が続いて耳も)	
柴田 4 491	〔河野與一書簡〕	昭和57年7月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(京都神戸奈良の旅を無事了へて)	
柴田 4 492	〔河野與一書簡〕	昭和57年8月6日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岩波の夏休中何とか治したいと)	
柴田 4 493	〔河野與一書簡〕	昭和57年8月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(鼻風邪…岩波へも一週間休み)	
柴田 4 494	〔河野與一書簡〕	昭和57年9月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(順天堂では及第…気力なく)	
柴田 4 495	〔河野與一書簡〕	昭和57年9月11日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(中学二年…漢文大系第二巻の)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 496	〔河野與一書簡〕	昭和57年9月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(敬老の日伊東に来ました…晴)	
柴田 4 497	〔河野與一書簡〕	昭和57年9月20日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ローマの事を書いた新刊書を)	
柴田 4 498	〔河野與一書簡〕	昭和57年9月30日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(伊東向お電話多謝…少し元気)	
柴田 4 499	〔河野與一書簡〕	昭和57年10月9日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日はやっとうちの網戸をしまひ)	
柴田 4 500	〔河野與一書簡〕	昭和57年10月19日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(弓の本到来、人に勧めませう)	
柴田 4 501	〔河野與一書簡〕	昭和57年10月21日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(眼が時々霞むやうになって)	
柴田 4 502	〔河野與一書簡〕	昭和57年10月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(暁星のやうな宗派的寄宿学校)	
柴田 4 503	〔河野與一書簡〕	昭和57年11月23日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(時々啓蒙されるLe Mondeの書評)	
柴田 4 504	〔河野與一書簡〕	昭和57年11月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(病気の話でなければ本の話になる)	
柴田 4 505	〔河野與一書簡〕	昭和57年11月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(今日は原君、昨日は真方君と仙台組の来訪盛んである)	
柴田 4 506	〔河野與一書簡〕	昭和57年12月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(酒と言葉を控へたせぬか…無事)	
柴田 4 507	〔河野與一書簡〕	昭和57年〔12月9日〕	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(何年ぶりかで始めたイタリア語が)	差出日「漱石忌の日」
柴田 4 508	〔河野與一書簡〕	昭和57年12月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(自分では感心しても人に話して見たってそれが何だと言はれるやうな事が)	
柴田 4 509	〔河野與一書簡〕	昭和57年12月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(心電図も写真も先づ合格)	
柴田 4 510	〔河野與一書簡〕	昭和57年12月27日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(昨日は…珍客野坂参三氏来訪)	差出「静岡県伊東市…」
柴田 4 511	〔河野與一書簡〕	昭和58年1月4日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(一昨二日夜無事帰)	
柴田 4 512	〔河野與一書簡〕	昭和58年1月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(十一時起、イタリア語は文法を途中でやめてピランデルロ	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 513	[河野與一書簡]	昭和58年1月25日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ル・モンド書評欄で注文したものが)	
柴田 4 514	[河野與一書簡]	昭和58年1月29日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子は時々門内を掃いたり庭の)	
柴田 4 515	[河野與一書簡]	昭和58年2月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(ピッテンデル口の仏訳を私が)	
柴田 4 516	[河野與一書簡]	昭和58年2月10日	河野與一	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(正月の補ひに又伊東へ来た)	「別荘風離れ家やまだ屋」(伊東市)の絵葉書使用、40円切手貼付
柴田 4 517	[河野與一書簡]	昭和58年2月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(熱は下ったが明日順天堂の先生の診察日なので行くことに)	
柴田 4 518	[河野與一書簡]	昭和58年2月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(大雪となり病院は断念したが)	
柴田 4 519	[河野與一書簡]	昭和58年2月26日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(午少し前まで寝てみてあとずっと起きてみた…今は威張る種…情無い)	
柴田 4 520	[河野與一書簡]	昭和58年3月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(雑祭…末の妹の娘桂子に一式やってしまったし…取止めにした)	
柴田 4 521	[河野與一書簡]	昭和58年3月5日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御友人の不幸をお悔みします)	
柴田 4 522	[河野與一書簡]	昭和58年3月16日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(又一寸しくじって今週は臥て過ごし)	
柴田 4 523	[河野與一書簡]	昭和58年5月17日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(失礼乍ら半病人の御自身がわざわざお見舞いにおいで下され恐縮の至)	
柴田 4 524	[河野與一書簡]	昭和58年9月13日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(やっと返事を上げるところまで気力が出了)	
柴田 4 525	[河野與一書簡]	昭和58年9月24日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(あれより小さい字でも肉眼で読めます、しかし大分弱くなっ	
柴田 4 526	[河野與一書簡]	昭和58年10月3日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(右胸にあった蔭の他に左側にも見えてゐたのが消えたらしく音もよくなって)	
柴田 4 527	[河野與一書簡]	昭和58年10月28日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(まだまるで意気地なしその癖夜に)	

柴田治三郎文書

資料番号	表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田 4 528	〔河野與一書簡〕	昭和58年11月7日	河野與一	葉書1枚	柴田治三郎宛。(たま子へゲータ伝をありがとう)	
柴田 4 529	〔封筒〕	(不明)	(不明)	—	〔河〕野與一宛	切手ハガシ
柴田 4 530	〔カラー写真〕	昭和55年11月7日	—	1包6枚	(河野・青木・大原・笹谷・柴田・長谷川・原・真方・山田・渡辺)	包紙に青インク「55年11月7日河野先生を囲んで」、写真の裏に「銀座岡田」とあり
柴田 4 531	〔新聞切抜〕	〔昭和54年7月7日〕	河北新報	—	(河野與一訃報)	
柴田 4 532	〔新聞切抜〕	昭和59年7月7日	朝日新聞	—	(河野與一訃報)	
柴田 4 533	〔新聞切抜〕	昭和59年7月8日	朝日新聞	—	(天声人語)	
柴田 4 534	〔新聞切抜〕	昭和59年7月12日	朝日新聞	—	(投書記事)	
柴田 4 535	〔外字紙記事コピー〕	〔昭和38年〕	(未詳)	—	(フェヒタを訪れた河野教授夫妻と柴田教授)	鉛筆書入「文学部外国人教師ヘルツェン博士の故郷フェヒタを訪れた柴田教授と河野與一先生夫妻。地元紙」
柴田 4 536	〔新聞記事コピー〕	〔昭和39年〕	図書新聞 773号～ 775号	3枚	安田金三郎執筆「ひとつの人格 河野與一」	
柴田 4 537	〔校正刷コピー〕	〔昭和55年12月以前〕	河野與一	—	(「翻訳と字引」)	岩波書店『文学』に掲載され、『続学問の曲がり角』に採録(一部省略あり)
柴田 4 538	宇野弘蔵著作集 第9巻月報	昭和49年6月	岩波書店	—	河野與一「取りとめのない昔話」所載	
柴田 4 539	宇野弘蔵著作集 別巻月報	昭和49年8月	岩波書店	—		
柴田 4 540	〔河野與一旧蔵マント〕	—	—	—	黒、補修済。	
柴田 5 1	〔河野多麻書簡〕	昭和16年7月4日	河野たま	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(拙文をおよみ下さったさうで光栄)	塩原温泉・福渡橋の写真、2銭切手貼付
柴田 5 2	〔河野多麻書簡〕	昭和17年4月22日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(岡本様は御母堂御逝去間もなく水道橋際の堀内病院に入院して)	消印「大東亜築く力だこの一票」
柴田 5 3	〔河野多麻書簡〕	昭和17年6月23日	河野たま	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(お医者様は七月一杯静養するやうに申しましたが、この分ならずと早く)	那須・殺生石の写真、2銭切手貼付
柴田 5 4	〔河野多麻書簡〕	昭和17年12月22日	河野たま	葉書1枚	柴田治三郎宛。(結構なバタ…東京ではなかなか手に入りにくい品…これですれどもふとって)	

柴田治三郎文書

資料番号		表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田	5	5〔河野多麻書簡〕	昭和18年1月13日	河野たま	便箋4枚	柴田治三郎宛。(この二週間は愚甥のために私ばかりでなく河野にまで迷惑かけてしまひました)	
柴田	5	6〔河野多麻書簡〕	昭和18年3月5日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(私は只今全く主婦…少々悲観)	消印「二三〇億郵便貯金もう一押し」
柴田	5	7〔河野多麻書簡〕	〔昭和18年〕3月31日	河野たま	便箋4枚	柴田治三郎宛。(二月に学校をよして…鍋島夫人日記をよみ通し勉強もこの際しよう)	
柴田	5	8〔河野多麻書簡〕	昭和18年8月31日	河野多麻	便箋2枚	柴田千秋宛。(本日無事に練が届きました…パンの御馳走も頂きました)	
柴田	5	9〔河野多麻書簡〕	昭和18年10月3日	河野たま	便箋2枚	柴田千秋(子)宛。(河野が栄養不良ですっかりやせて…早く築館へいくと申してゐる所)	
柴田	5	10〔河野多麻書簡〕	昭和18年11月20日	河野多麻	用紙4枚	柴田治三郎宛。(家の中に入ってしまった自分の生活のつまらなさ…只今の境遇を感謝)	
柴田	5	11〔河野多麻書簡〕	昭和19年2月2日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(築館においでなつたさうですね)	
柴田	5	12〔河野多麻書簡〕	〔年月未詳〕17日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(本日河野へ沢山新鮮なリンゴを御送りたまはり…私は蘇生の思い)	2銭官製葉書使用から昭和12年4月～19年3月の間、18年11月か
柴田	5	13〔河野多麻書簡〕	昭和28年10月19日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(仙台でずっと比較文学会にお仲間入りさせて頂きましたが)	
柴田	5	14〔河野多麻・與一書簡〕	昭和28年10月24日	河野與一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(人事は小生意見なし)(貝塚さんから小川先生御元氣のよし承り)	
柴田	5	15〔河野多麻書簡〕	昭和28年11月11日	河野多麻	方眼紙2枚	柴田治三郎宛。(何か御礼に東京の名産…河野はそれよりも失礼でもお金をさしあげよと申し)	
柴田	5	16〔河野多麻書簡〕	昭和29年2月18日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(二週間はたっぷりやすみました)	
柴田	5	17〔河野多麻書簡〕	昭和29年6月7日	河野多麻	便箋2枚	柴田治三郎宛。(佐藤氏へ御話下さるやう仰せでしたが、それはおとりやめ頂きたく存じます)	

柴田治三郎文書

資料番号			表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田	5	18	〔河野多麻書簡〕	昭和29年8月26日	河野多麻	便箋9枚	柴田治三郎宛。(河野がまず拝見して、おい善いニュースだよ、お前さんへだよと申しました)	他に与一の28日付便箋1枚、柴田の前便控便箋1枚と9月8日付の後便控便箋2枚を同封
柴田	5	19	〔河野多麻書簡〕	昭和29年9月30日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(文章論についての御高説の御答もいたしません)	
柴田	5	20	〔河野多麻書簡〕	昭和30年4月18日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(この頃の仙台は私の一番好きな時候でございます)	
柴田	5	21	〔河野多麻書簡〕	昭和30年9月4日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(例の小論御目にかけて)	
柴田	5	22	〔河野多麻書簡〕	昭和30年〔月未詳〕26日	河野多麻	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(秋の美しい空ほど美しいものではありません)	男の絵、5円切手貼付、絵の下に与一書き入れあり
柴田	5	23	〔河野多麻書簡〕	〔昭和31年力〕3月21日	河野多麻	絵葉書1枚	柴田治三郎宛。(頂いたアカンサスが春になって新しく葉をもちました)	子供の絵、1956年発行の5円切手貼付、下部に与一書き入れあり
柴田	5	24	〔河野多麻書簡〕	昭和31年11月13日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(河野も御病気ではないかと大変御案し申し上げてをります)	
柴田	5	25	〔河野多麻書簡〕	昭和37年11月24日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(過日は思ひもかけず御尋ね頂き)	
柴田	5	26	〔河野多麻書簡〕	昭和38年1月20日	河野多麻	便箋3枚	柴田治三郎宛。(私の出版祝…案内状にあなた様お一人だけを落し…世話人の落度)	
柴田	5	27	〔河野多麻書簡〕	昭和38年1月24日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(私の会の事…御参加下さるとの事うれしく有難く厚く御礼申し上げます)	
柴田	5	28	〔河野多麻書簡〕	〔昭和38年〕5月6日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(とうとうアテネに来て四日になりました、アクロポリスはすばらしい史蹟でしたがエジプトのカルナックのその方が雄大)	クレタ島壁画の写真、ギリシャの切手2枚貼付、「松島」氏書き入れあり、河野夫妻は38年4月～翌年1月にかけて欧州旅行
柴田	5	29	〔河野多麻・與一書簡〕	昭和39年2月15日	河野与一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(おわかれしてから北欧めぐりしてパリにもどり…元旦の夜おそく東京)	与一も多少書き入れ
柴田	5	30	〔河野多麻・與一書簡〕	昭和49年5月10日	河野与一/多麻	葉書1枚	柴田治三郎/御奥様宛。(いつまでも若い奥様や立派に御成長の御子息にお目にかかれて)	与一も表下部に書き入れ

柴田治三郎文書

資料番号			表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田	5	31	〔河野多麻書簡〕	昭和49年5月19日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(原さんが書類を…論文要旨を六十部とあるのに驚かされてをります)	
柴田	5	32	〔河野多麻書簡〕	昭和52年6月8日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(もう暫く安静にしてゐるやう言はれ)	私製葉書(草花の絵入)使用、切手2枚貼付
柴田	5	33	〔河野多麻書簡〕	昭和52年7月28日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎/御奥さま宛。(柴田さんも御手術の結果よろしく)	10円官製葉書に10円切手貼付
柴田	5	34	〔河野多麻書簡〕	昭和54年8月11日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(サギ草とベコニヤをならへて植ゑ)	
柴田	5	35	〔河野多麻書簡〕	昭和56年9月6日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(次の土曜日御上京の由でうれしくお待ち申し上げます)	
柴田	5	36	〔河野多麻書簡〕	昭和56年12月12日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎/御奥さま宛。(葡萄酒を御贈り下さった由)	
柴田	5	37	〔河野多麻書簡〕	昭和58年8月20日	河野多麻	便箋3枚	柴田治三郎宛。(数日前、御奥様御本拝読、とても楽しく純真なやさしく静か	
柴田	5	38	〔河野多麻書簡〕	昭和58年9月5日	河野多麻	便箋2枚	柴田治三郎宛。(モツアルト上下二巻おかけ様で通読させて頂き誠に有難く忝く厚く御礼)	
柴田	5	39	〔河野多麻書簡〕	昭和58年11月6日	河野たま	葉書1枚	柴田治三郎/御奥さま宛。(河野から何やら御注文…無事届きました、ゲーテ研究これから楽しめること)	私製葉書使用、40円切手貼付
柴田	5	40	〔河野多麻・與一書簡〕	昭和59年1月9日	河野多麻/與一	葉書1枚	柴田治三郎/御奥さま宛。(本年の御多幸を念じ上げます)(順天堂受診)	
柴田	5	41	〔河野多麻書簡〕	〔昭和59年〕10月13日	河野多麻	便箋1枚	柴田治三郎宛。(「学仙院哲広玄徹居士」の百ヶ日も済みました)	封筒上書き「御挨拶」、切手なし
柴田	5	42	〔河野多麻書簡〕	昭和59年11月29日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(遺品一番沢山お持ち下さった由河野もよろこび満足したこと存じます)	
柴田	5	43	〔河野多麻書簡〕	昭和59年11月30日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(小包が届き…或はその中に私への御本が入ってゐるか)	
柴田	5	44	〔河野多麻書簡〕	昭和59年12月13日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(御著が届き…老衰でよめないかもしれませんが勇気をふるって拝読いたし)	

柴田治三郎文書

資料番号			表題	作成年代	作成者	数量	内容(摘要)	備考
柴田	5	45	〔河野多麻書簡〕	昭和60年1月22日	河野多麻	葉書1枚	柴田治三郎宛。(夕食もさしあげずかえって結構な供物で恐縮いたしてをります)	鉛筆書入「廿四日正午受取り、一時間後原二郎君から電話、先生宅出火、多麻夫人焼死…」
柴田	6	1	〔勝本稔子書簡〕	平成6年5月17日	勝本稔子	便箋4枚	柴田治三郎宛(その昔うちで書画会をいたしました時)	「勝本用箋」使用